



なんたる  
★  
生

8月増刊号

なんたる星大賞

各受賞・最終候補作品／選考会記録

どうも！こんばんはこんにちはおつはー！！ギャグ全開ハイクオリティ灰皿、恋をしている大丈夫です！！

この度は「なんたる星8月増刊号」をご覧いただきありがとうございます。

本誌では「なんたる星8月号」で発表になったなんたる星大賞の詳しい選考の模様をお送りします。選考会は2日間に分かれ、2日目は昼夜の2回に別れるという白熱ぶりでした。

初めになんたる星大賞に関して簡単に説明しますと、今年の6月15日〜7月15日までの一ヶ月間で「5首連作」を条件に皆さんから作品を募集しました。延べ61作品が集まり(予想では20作品くらいを考えていました。だ〜いごさ〜ん!!!)、とても嬉しくて夢見心地でした。ありがとうございます。そこから各審査員8名(恋をしている・迂回・はだし・ナイス害・米田一央・スコラブ加賀田優子・伊舎堂仁)が61作品の中から上位5作品を選出し、さらにその中で「各審査員が1位に選出した作品」と「複数の審査員が5位内に選出した作品」を最終候補作と

し、なんたる星大賞を決定する為の選考会で最終候補作12作品の議論がなんたる星秘密のチャットルーム(短歌BAR 『廃船』)にて行われました。本誌では、その選考会の模様を「一日目」「二日目 昼」「二日目 夜」の三日間に分けて掲載しております。スケジュールの関係上すべての日程に全審査員が参加することができなかった為、事前に評の提出をして代用させていただいております。次ページ掲載の大賞・次席・特別賞・その他最終候補作7作の連作と合わせてご鑑賞いただければと思います。それでは、またどこかの星で風邪をひいた日に会いましょう。

なんたる星主催 恋をしている

各審査員上位5作品

選者\順位	1	2	3	4	5
恋をしている	夏へ、菜食生活 (めちやくちやうるさいあしか)	夏のモンタージュ (増田達郎)	知らない事情 (まな!)	正しさはストレート (じゃこ)	店 (野添まゆ子)
はだし	息が聞こえる (萩野聡)	パンノアクラウ (御糸さち)	ピリオドは打たない (羽島かよ子)	タイムトラベリング (404notF0816)	蟹かいたい (有村栞穂)
米田一央	やさしい爆撃機 (ゆら)	イチゴストリート (荻森美帆)	行事には出ない (まるやま)	Strange People (姉野もね)	好きなひとの歯 (小坂井大輔)
迂回	力を合わせたくない日 (雀来豆)	ペンギンづくり (大嶋航)	パンノアクラウ (御糸さち)	終わること等 (パラドクス)	星だったはずだった (しま・しましま)
ナイス害	ペンギンづくり (大嶋航)	力を合わせたくない日 (雀来豆)	知らない事情 (まな!)	正しさはストレート (じゃこ)	星だったはずだった (しま・しましま)
スコラブ	ペンギンづくり (大嶋航)	力を合わせたくない日 (雀来豆)	やさしい爆撃機 (ゆら)	イチゴストリート (荻森美帆)	彼女の得休 (塩ビ羊)
加賀田優子	夏のモンタージュ (増田達郎)	知らない事情 (まな!)	正しさはストレート (じゃこ)	連立二次 (宮原陽介)	息をしてない (たゆか)
伊舎堂 仁	行事には出ない (まるやま)	青染むタペ (Chiyo)	夜にだけ呼べる名前で (大葉れい)	きつと娘も (雪)	パンノアクラウ (御糸さち)

# 大賞作品



知らない事情

まな！

来週で通学路が変わりますカメラおじさんの道を左

『今日は閉店しました』の文を考え過ぎて closed にする

大陸の裏側にそつと貼っている一番良い時の神様のプリクラ

今まさにいる海ではなく電車から 見ていたあの海こそが海

鳴ったように聞こえたけれど違うみたい あ鳴ってたみたい俺でした俺



パンノアクラウ

御糸さち

時間貸駐車場には空がある鳥のよきぎるスペースとして

空間か時間か分からないけれど二〇分二〇〇円なら買うか

走ってる時よりかるいラパンノアクラウン黒塗りの高級車

3番の赤い車と6番の白い車はキスをしなさい

足立足立湘南足立足並みのみだれたところから夏になる

# 次席作品

ペンギンづくり

大嶋航

生き別れた恋人たちの再会も私立図書館では私語になる

犯行に用いられた突っ張り棒が遺体の腹部に突っ張っている

高架橋見つけた時の高鳴りを集めてディズニールンドができる

ノーチラス号格納庫清掃時ボンチョ着用許可要請デモ

ペンギンを創るときだけ面白いシーエムだったんだよと神様



行事には出ない

まるやま

ビーム出す蛍光色の鬼たちにプラスチックの豆をぶつける

会計用トレイは透明な針の山 香典袋は買い忘れた

「そう思う」<sup>55</sup>人に背を向けて のこり<sup>56</sup>人とはじめる宴

アイドルの卒業公演感覚で埋め立てられる海を見に行く

「おまえだ」と叫ぶバターの怪談を練習すれば外は初雪

# 特別賞作品

夏へ、菜食生活

めちやくちやうるさいあしか

緊急時 その他 瑕疵 網 ウイルス性 姉が勝手に応募しまして

地球よりでかい魚を釣ったあと四角いトマトに恋してみた

場所じゃないところにいるから見つけてねすべてのオーロラ・雲に泳法

ヒント1「私は君を殺したい」2「たぶん花火だあんなに高くて」

コピー機の不調のノイズに似たような横顔なのかも、それか嘘かも



# 最終候補作品

力を合わせたくない日（雀來豆）

熊島に住むもの 飛べぬ熊 力のない熊 その恋人の熊

力を合わせたくない日なんです という言いわけが通った日、雨

ジャンク屋で買った輪っかは木星の怪力少女が持ってきたもの

いまきみが感じてるのは原さんの手で作られたにせの重力

樹に願う 戦い前の少女にもすべての葉っぱに宿る力を

息が聞こえる（荻野聡）

眼の中がこんなに薄い人としてグレーのワゴンが真横を通る

泣く人を浅いところで眺めててプールに最初の雨が突き刺す

足元を一羽の鳩が横切つて静かな君と饒舌な君

河原にはかつて桜の木々があり今日のあなたは鬱っぼくない

二で君と眠りを分かち合い息が聞こえるあなたの息だ

夏のモニタージユ（増田達郎）

うつらうつら初夏 人のふくらはぎ付近に雨の残りが当たる

運びづらく机を持っている二人 夏休みたち溢れつばなし

朝まではプールサイドは濡れたまま なんにでもなる気で嘘つくる

真夜中の「海に行こう」を言うために傘を並べて歩いた晩夏

ヒートアイランドを見てる クレヨンで絵を描いた手を嗅ぎに行きたい

やさしい爆撃機（ゆら）

よくぞああいらっしやったなお客さま満席ですがどうにか座れ

ワッフルにコーヒ運ぶ客席へホール係は爆撃機だろう

こぼされたアイスを拭いたかなしさも一緒に吹いた ラストオーダー

宇宙人は~~色々~~種類もいるのだと常連さんがおっしゃるのだが

今日もまたやさしい爆撃機であろう カプチーノ手に踏み出して行く

正しさはストレート（じゃー）

瞳孔がみるみる開くまあなんて素敵な将来設計でしょう

本当は曲げたらあかん方向へ曲げてばかりやで蟹の足

死んでいるそれは現在進行形 生き返ったりするかもしれん

その思い届きましたとまだ思い送っていない人に言われる

目に見えている星だけが美しい視力0・01の目で

イチゴストリート（萩森美帆）

イチゴストリートどこまで歩いてもつつじばかりが植えられている

形骸化した「もしもし」を言い合えばなべて不思議の国のわれわれ

顔のあるロボットに会う ロボットに似合う帽子をかぶせてあげる

靴屋から二足歩行を前提に付き合うことを強いられている

理性ある人々がすれ違いざまわれにささやく死刑宣告

星だったはずだった（しま・しましま）

よっちゃんを違うあだ名で呼んでいたヨシフミくんが来てからずっと

星だったやっとなんだはずだったフルの底の消毒錠剤

じゃんけんで負けて泣き出すよっちゃんの頭の傷だけ白かったこと

じゃあ死にたてに触ったことはあるの と聞かれるままにうんと答える

時々わたしの中の少年が「こんにちはあ」のあを裏返す



# 選考会

## 一 日 目

## 大嶋航「ペンギンづくり」

審査員……恋をしている・ナイス害・伊舎堂・迂回・米田・はだし・加賀田

### 恋を

では選考会をスタートします。よろしくお願  
いします。まず最初に取り上げるのは大嶋航  
「ペンギンづくり」です。二名が1位お一方  
が2位で取っている作品になります。とりあ  
えずこれは1位で取っている害さんからお  
話を聞きたいと思います

### ナイス害

ペンギンって、手をパタパタしながら近寄っ  
てきたりして可愛いけど、あれは威嚇して  
らしくてそのギャップみたいなのが、この連  
作にも出てるなあと思いました。特に、ノ  
ーチラス号格納庫清掃時ポンチョ着用許可  
要請デモ これの可愛さが異常に好きでし  
た。チョイスの妙もだけど、ポンチョで。同  
じ視点で、生き別れた恋人たちの再会も私立  
図書館では私語になる も、好きです。

## 伊舎堂

私立図書館、と私語の「私」被せ、スコラブ  
さんの評で気づきました、おもしろい。

### 恋を

私立図書館、僕もハツとさせられました。い  
い視点だと思います。これ全体の流れとい  
うか背景的なものとしてスコラブさんなん  
かは「バラバラな出来事が神様のつくった出来  
事としてまとまる」と言っています、害さ  
んも同じような印象ですかね。

### ナイス害

連作のタイトルからも、創造主みたいなのは  
感じ取れます。

### 迂回

どっちかという「神様」よりは全体のコン  
セプトというかシリアスさと面白さの緩急  
をいろんな視点で詠んでる、ってとらえてま  
した。一番でかい視点でオチにするための  
「神様」なのかな、と。

### 米田

正直、5首全体のつながりを認められなかつ  
たから外したところもあるんだけど、そこは  
神様でつながるんだ？

## 迂回

そうですねーそのあたりの視点の多様さと  
か全体の雰囲気のもとまりであるとか。三首  
目は単独でも秀歌だと思うんですが、この一  
連の中だとより映える感じがします

### 恋を

うんうん。さっきの「私立」図書館なんか  
神様の仕業と捉えるとこの「私」っていうの  
が面白い意味を帯びてくる感じしますね。

### 伊舎堂

ペンギンを創るときだけ面白いシーエムだ  
った の意味がちよっと分かってないんで  
すがこれは……？ペンギンのCM、ってこと  
ですか CMのあいだにペンギンを作った、っ  
て意味なのか、とか。

### 米田

テレビ見ながら生命創造してて、できちゃっ  
たのがへんてこな生物IIペンギン？

### 加賀田

ペンギンするときだけ、目を離しちゃった、み  
たいによんでました。

### 恋を

CMの間じゃないですかね。面白かったから



よそ見しちゃって飛べない鳥みたいな中途半端なペンギンができちゃった。

迂回

CM見ながらペンギンじゃないかな。ペンギン、若干失敗感あるのわかる。

伊舎堂

完成品としてのペンギンじゃなくてなんかぶきつちよな作り、ってことなのか。

恋を

ペンギンにはやっぱり「不全感」みたいなものがある気はしますね。

伊舎堂

あーなるほどなるほど、飛べないの欠点より可愛い の長所のほうが強いかんじするから、優良品、と思ってるのかってなりました。

短歌でペンギン… っていうと 食器と食パンとペンの絵じゃないけど、絶対 良いもの、として読めちゃうんですよね… その連想は雑なのかもですが

米田

「ペンギン」も「シーエム」もそうだけど、かなり字面にこだわってるよね、このひと。

恋を

たしかに。「CM」としないんですね。

米田

声に出して歌う、っていうよりテキスト的なのかな。大喜利？

恋を

僕も正直急に「ペンギン」が出てくるところにつまずきはありましたね。最後の歌の「だったんだよと神様」とかスコラブさんの評にある「高架橋を」の「を」がないところとか、全体的に幼いというか作り方にちよつと甘さを感じられてそういう点で「チェック」は入れたんですが候補にまで僕は取らなかつた感じでしたね。

伊舎堂

おもしろいんですけどね

迂回

一〜三首目まで「る」締めが続いたりとか音でちよつと引つかかる部分はあったんですが、テキストでみた時の単語のバラバラ感と、読んでみた面白さで上回りましたね〜

恋を

後細かくなっちゃうんですが「突っ張り棒が

腹部に突っ張っている」っていう状況があんまり想像できなかったんですが…この歌

もすごく面白そうな雰囲気があるのにイメージにつまずきがあるんですよね。

伊舎堂

ぎちぎちに刺さってて貫通はしてない、みたいな。

迂回

浮いてるんじゃないかな突っ張り棒で磔にされて

米田

突っ張り棒に乗っかって斜めになってる遺体ってイメージだった

はだし

あれはふつうに刺さってるだけのイメージでした。突っ張り棒だからそれでも突っ張ってると言えちゃう的な

加賀田

私も刺さってるかと…そうか、つっぱっているのか…

恋を

僕もはだしイメージでしたね。刺さっているから突っ張っていると一瞬みたい

な。乗っかっている、か。うーんなるほど…

：

**伊舎堂**

つっぱりぼう、2度目を読むと 犯行 遺体  
腹部 っていう三つの単語がなんか強すぎる  
気がするんです

**迂回**

ああ強い単語が偏ってるのはわかりますね  
：

**伊舎堂**

ゴミ箱に天使がまるごと捨ててあり羽根と  
体を分別してる(吉岡太郎) の、二度目で  
読むと あら？？って落ちるかんじがある  
んです。おもしろを目指した散文 短歌、つ  
て二度目に弱くて、謎とか解釈の魔力がない  
ぶん弱いな、って体感が(自分の本とか読み  
直したりして)わりと警戒してる、って僕の  
今のモードもあって推せなかったですね…

**恋を**

最終的にはみんな感じている「一首ごとのバ  
ラバラ感」を「神様の創造物」みたいな一点  
でまとめているあるいはモニタージュ的に  
見せているという構成が成功していると感

じた人は高評価で、つながないなくって人  
が低評価なのかな

**ナイス書**

うんうん、そうかも

**伊舎堂**

それは好き嫌い、とも言えますかね??

**米田**

面白い言葉5連発！みたいな感が拭えな  
かった。好みかもだけれど

**恋を**

うーんかもしれないですね。あとは中途半端  
で迷っちゃうのかな。スコラブさんが評で書  
いている「デイズニー」「ノーチラス」とか  
の流れみたいなのをもっと出して少しでも  
まとまりに寄せるか、もっとバラバラにして  
最後の一首の力をグッと高めてまとめるみ  
たいなことにした方がやっぱりイイように  
感じちやうんでしようね。

**伊舎堂**

それでも嫌い、側を説得できる部分があると  
すれば… スコラブさんが書いていた自由  
な音律で詠んでる みたいなところに活路が  
ありそうですけど、字余りは許容できたか聞

きたいですね、おのおの！おのおの。おの  
おのに

**米田**

自由な音律は「うまつ」って思った。だから  
甘いつていうより狙ってやってるのかなっ  
て。特に2首目。

**伊舎堂**

いつかい意味から離れて発声で読むときも  
ちいいのかなあ。

**米田**

うーん、音で読むとそんなに楽しくないかも。  
やっぱ字面かなー。字面は自然、音はちよっ  
と、みたいな。

**恋を**

2首目の音律の良さはありましたね。でも、  
読んでいったときにそういうのとは別に、迂  
回さんが言っていた「る」連続とかあまりに  
もひっかかるところの方が多かったのが印  
象としてあります。

**伊舎堂**

ノーチラス号、かわいくかわいくかわいくし  
た塚本 邦雄っぽくてこれがいちばん気持  
ちよかったです 2首目…



迂回

4首目みたいなのはわりと韻律に沿って作られる印象だけど、違うんすよね。これについては後半音が揃っていくのが気持ちよかったです。

恋を

4首目もそうですね。これはでもそれこそ先行作品が容易に浮かぶ形の歌だったから僕なんかはその時点でうーんとなっちゃいますね……

ナイス害

る、が重なってるのは気にはなりました。自分も絶対連作の時は気をつけてる事なので、それを上回るワードの強さ、に参りましたという感じでした

伊舎堂

る 終わりが気になる、って言われる側から読む側に回るとめっちゃ分かりますね

米田

「ペンギンづくり」をしている際の映像だから、ぜんぶ現在形じゃなきゃだめだった、とか。

はだし

ぜんぶおもしろいcmやったんか

迂回

テレビなのかー言われると確かにどれも番組っぽい雰囲気ありますね。そう読ますにはちよっと仕掛けが弱い感じもするけれども

伊舎堂

イニシエーションラブ、みたいな「書かれてること全部が一斉に起きてる」と読むとちよっと魅力増すかも。なるほど、だから4首ぜんぶおもしろ+現在形で終わる、と

恋を

うーんそうなのかなー最後の歌はいいとしても4首目の唯一「る」ではない歌はどうとればいいんだろうとなるけど……

伊舎堂

僕 ノッてきた途端みんな冷静になるみたいな流れ ハラハラしますね 笑！

加賀田

最後の歌で全体の説明ってなってるってことですかね？全部テレビだと

米田

全部テレビってか、「世界では今こんなことが起きていて、最後に神様の言い訳」みたい

な。

加賀田

なるほど……だと、デモが私も気になります  
恋を

「世界でこんなことが起きている」にしたいならやっぱ「デイズニー」からの「ノーチラス」みたいな無駄なつながりは徹底して失くしたほうがイイと思うけど。それこそもつとバラバラにした方が狙いはハッキリしたような気はするな

米田

そうそう。だからデイズニーは好きだけど全体は評価しにくい。

はだし

ペンギンめっちゃ最近すね

伊舎堂

おもしろ+現在形 をメタ的に見つめる神様、の場面も おもしろ+現在形、って言うのは広がりがないですか？ もっと怖いやつでもよかったんじゃないかとも思えてきました 加賀田さんは デモの何が気になるんですか？



米田

デモは「デモをしている」ってことじゃない？もしくは、「デモが起きてる」

加賀田

デモはそもそも進行形イメージかー！デモは、元の歌がありそうだったので世界観つながらりで、こういうのを作って見たかった一首のような気配をかんじてしまってます。

伊舎堂

あ、迂回さん加賀田さんは【先行作品が気になる】んですね

加賀田

そう、それです！

迂回

あ、ぼくは特に気にしてなかったです。そういうジャンルありそやなと思ってる

米田

単語連発って必ず誰でもやるから、既視感があったけど、そういうものかなあと思ったりもしている

恋を

元の歌ってほどではないにしてもそうですね「単語連発」は必然リズムが良くなるし真

新しさは感じないかなあ

伊舎堂

4首目をいちばん最初に思いついた可能性もある気がしてます。そっからアリバイづくり

恋を

そうですね。作者にこの連作を通してのハッキリした意図が感じられればもっと推したい気もするんですが、個人的には「アリバイづくり」的な感じの方に重心はいつちゃってますね

加賀田

アリバイ！私、候補に入れてたんですが、たのしく頭で作ってる連作で、おもしろい！けれど、おっきな世界の表現というよりはこう、遊びたい気持ちが大いかなと思ってるので、アリバイを、感じてしまったのかも・・・です

米田

メタ的にはベストアルバムかなあと思ったりもした。ベストじゃないか、コンピレーションか。

伊舎堂

はだしさんの「ペンギンの登場が歴史のかなり最近め」の指摘はかなりのとどめかな、

ても思います。一首の傑作性か、連作の傑作性か、だと皆さんどこに重点おいたかんじなんでしょう？？。そもそも今回の選考において。作品によりけりかな

恋を

作品によりけりですね。作者の意図するところが見えればそこに従って合わせていく感じ。ただこの作者のはハッキリとした意図が見えないから迷ってうーんみたいな

伊舎堂

意図に沿わせておいて。ちょっと良くなかった、つてのは。かなり痛手ですね…

迂回

世界のズレみたい面白さをねじ込むパワーがあると思ってる、もしかしたらコンセプトじゃなく作者の固有の特徴なのかもしれないけど、その辺の精度はやはり高いと思う

伊舎堂

精度はねあるって思います。なによりおもしろい。

ナイス害

迂回に同じです

恋を

点数的にみても一番高い連作であるのは変わりないので2日目にも恐らく俎上にのせる作品かと思えます。



雀來豆「力を合わせたくない日」

審査員……恋をしている・ナイス害・伊舎堂・迂回・米田・はだし・加賀田

恋を

では、続いて雀來豆「力を合わせたくない日」に参ります。これもナイス害さんスコラブさんの二名が2位で、迂回さんが1位ですね。迂回さんからお話をお願いします。

迂回

「力」を全首に読み込んだ連作で、その個別の歌の面白さとか、面白さの種類が多様さがまず良かったです。「おもしろ」というよりは歌としての良さかな。テーマ「力」に対する解釈の多さも感じましたね。能力のことであったり、合わせるものとした社会的な力だったり、超常的なものであったり、単語だけだとわりにメッセージ的というか、力を得ようとか力を捨てようみたいな訴求をされがちなテーマかなあとと思うんですが、そこを全体いい意味でふわっと捉えたというか、力そ

のもの、の解釈の面白さで押し切った感じが好ましかったです。

伊舎堂

樹に願う 戦い前の少女にもすべての葉っぱに宿る力を

これ、口語作品の迫力なのかよって驚きました。

恋を

僕もこれ候補には入れませんでした結構迷った作品でしたね。迂回さんが言うように「力」のバリエーションがあって、しかも一首一首がかなり面白いっていうのはなかなかスゴイ事じゃないのってなりました。気になったのは最後の一首で、樹に願う 戦い前の少女にもすべての葉っぱに宿る力を

僕はこれなんかはちよつと肩透かしをくらったというか結末としてあまりに陳腐な印象を抱いてしまったんですが、他の方はどんな印象なのかな

迂回

不思議 に行き過ぎてファンタジー色出すぎた感じはありますねー

加賀田

私も、最後一首ひっかかりました……とい

うか、最後の一首の置き所ここなのか、と思つて候補にいれなかったという。力を合わせたくない日、のラストに、力が集まっていく印象の歌がきたので

はだし

色が違う気はしました

伊舎堂

こう並ぶとペンギンづくり、と作り一緒ですね、さいご 空からの視点になるっていうか

米田

ほぼ同意見。最後だけ。全体に、自分には力がない、持てないって共通項があつて、最後ほんわかしたな、って。樹に願うんだって。

伊舎堂

あ、ほんわかしましたか！

米田

ほんわかじゃないなぼんやりだな

恋を

力を合わせたくない日っていうのがどうしようもなくあるけどでも力を願うみたいのところか意図としてはいい感じなんだけど、いかんせんそれが露骨に出過ぎているんじ

やないのかな。コンセプト分かって欲しすぎてそのまんま出しちゃった感じ。

加賀田

そうか、逆に露骨なんですかね

恋を

伊舎堂さんは最後の一首について「迫力」ってワード出てましたが、どうですかね？

伊舎堂

あ、はい最後の一首。そこまで、熊（これも食器と食パン？系のほんわかワード、ですね）だったり 雨、のけだるいかんじ、ジャンク ショップ、って言うのは社会のはみだしスペースみたいなのとダウナーなワードで最後までいって油断させといて、最後 女戦士の「力」みたいなとこまでカメラを絞る、このパッキパキの感じにびっくりかえったんですよね。だから米田さんの ぼんやり…にちよつと あ、それぞれだ！となった。推さなかったのは、いい一首がその最後のやつだけだった、っていう、ある種 構造不況というか。

米田

女戦士ってか告白前の少女に見えちゃった

んだけど、そうなの女戦士なの？

迂回

僕も今まで女戦士ぽさ感じてましたけど、病室で木の葉眺めてる系女子にも見えませぬ

加賀田

最後落ちたらしんじやうやつ……

伊舎堂

あ、戦いの先が恋だったり病魔だったり、だとまたちがうのか

恋を

あー告白か、それは思わなかったなあ

伊舎堂

時勢柄（しゅーだんてきじえいけん とか）、マジの戦い、聖戦の前、感で読まされてました

米田

告白って言うのと陳腐だけど、「ちいさな自分がちゃんと生きられる力をください」みたいな

迂回

三首目に引っ張られてるのかな。木星の怪力少女のファンタジー属性かな

恋を

確かに全体的にSF調というかファンタジー色が強いから流れで見るとどうしても女戦士みたいなどころに行きついちゃうのかな

米田

あー3首目かー。言われれば浮いてる

伊舎堂

これが なんちゃら乙女、だったら「ああ、この世界には恋心、みたいなのが存在するのね」ってなったと思いますが怪力少女、っていうバトル漫画な感じが。はい。属性っぽさ

米田

怪力少女って単に自分との対比として受け取っちゃダメなの？はつらつとしたパワーのある自分とは別世界の少女。

迂回

実際に怪力少女いる感じではないなあと思つたり そう思い込むことの効果。ただ単語に引っ張られたよね、というところで、女戦士以外で読んだ方が連作の完成度は上がるのかな

伊舎堂

「自分」がでてくる短歌（力を合わせたくな



い日なんです という言いわけが通った日、  
雨)よりはセカイ系、っぽい短歌が多い、つ  
てところで連想が絞られましたね 「自分」、  
いなくないですかこの連作に？

恋を

「自分」は感じられないですね確かに。温度  
感はずっと低い

米田

セカイ系、の定義を「自分たちだけの世界」  
とするならば同意。これ主体が複数っぽい

加賀田

力にまつわる群像劇みたいな

迂回

主体がない・ばらばらというよりは空想と  
してつながってる印象でした。力とは！力と  
は！でぐるぐるしている。

伊舎堂

熊島 が熊「村」じゃなく熊「島」なのは日  
本列島、の暗喩で、なんか戦いに巻き込まれ  
ていく感じとか、だいぶ今の日本の寓話っぽ  
く読みました、【原さん】とか、政治家の名  
前っぽくてぜったい勝てないぞ、っていう悲  
哀とかで着地する

ナイス害

他の作品にもあったけど、人名に弱い勢

米田

そうなるよそれこそ3首目はなんなのって  
ならない？

伊舎堂

3首目は、日常パート？

はだし

うちは原さんやと思ってました

迂回

怪力少女原さん

米田

セカイ系セカイ系思い浮かべてたら最終兵  
器彼女にしか見えなくなってきた

伊舎堂

それまで雨とか島で、わりと広めの土地が舞  
台ですよってそこから、ジャンクシヨップ、  
の登場でこの世界のだいたいのがさがわか  
るんですよ

迂回

熊島が完全フィクション視点だったので迷  
うところもあるんですけど、そこをきっかけ  
に身の回りのもの・出来事に思いを馳せてく

かんじがする

恋を

さっきの「ペンギンづくり」の時と似たよう  
なこと言っちゃうんだけど、3・4首目で明  
らかにSFっぽい感じが出てきて、この2首  
間だけ「力」以外のところにつながりが出来  
ちゃっているのが僕は中途半端な印象にな  
っちゃうんですよ。せめてこの感じの歌が  
連続で続かなければなーとか思ったりなん  
だり

米田

あー、たしかに4首目の位置づけよくわか  
ないな

迂回

力を疑ってみる、っていう狙いはあると思  
うんですけど雰囲気はねーそうですよー

米田

主体を「力のない熊」とその恋人のふたりに  
設定して、4首目は詩だな、詩。

はだし

原さん another 創造主とかかも

迂回

原さん権力者説 まあ重力能力者だしな。た



だよっばりSFぽさ、がちよいと枷になってるのは否めない

恋を

うん、そのSFの違和感のあたりを回収できる説明がうまくできればいいんですがちょっと難しいところもあるのかな。僕は一首一首は割と面白いと思うんですね。2首目とカリズムはちよつとやっばりアレなんですが、「言い訳が通った日」の「通った」とかあんまり出てこないんじゃないかなって。好きでした

加賀田

「力」で五首いってみました、なのかもですね。世界繋がってるとかではなく

恋を

そうですね今のところ加賀田さんの読むのが恐らくは正解だと思う。そうすると連作としての強度はちよい弱めかなと取らざるを得ないけれど

米田

つながりなしか、そうなると世界観勝負？恋を

僕はそう思います。だから、SFを押し出し

ているのはやっばり無駄に想像を固定しちゃって枷になっちゃっているという説ですね。でも力を合わせたくない日はあるんだよな、ある。

迂回

空想での「力」に対する考察色々、と捉えてたので個人的には繋がりもクリアできてるんですがねーうーうーんちよつと恣意的かー

伊舎堂

：加賀田さんに「たかえないよ、たましい」ってはいってる歌あったじゃないですか、同族嫌悪：っていうとあれだけどなんか似てる者どうしの感じするので好悪をききたいです

米田

はちみつで育った毛から花々のおい た  
たかえないよ、たましい

ナイス害

改めて「すげえ」ってなる歌

伊舎堂

たぶんこれを越えてるか：みたいなのが無意識にあったんです僕

加賀田

お題作って10首、で、まとまりそうなタイトルに頼って連作として出す、とかはよくやるので、気持ちわかるなって感じありました。：。一首一首は好きです！

伊舎堂

なるほど、やっばり足ひっぱるんですね、どこの一首が。

加賀田

はい、たぶん、そういうかんじでつくると、つじつま合わないやつがきます

伊舎堂

ありがとうございます

増田達郎「夏のモンタージュ」

審査員……恋をしている・ナイス害・伊舎堂・迂回・米田・はだし・加賀田

恋を

では、増田達郎「夏のモンタージュ」行きたいと思えます！加賀田さんが1位、僕が2位です。加賀田さんからお話をお願いします

加賀田

お名前がこれで「夏のモンタージュ」ってタイトル、歌謡曲っぽさある！ってよみはじめたら、皮膚感覚、っていうか、触ったりにおい嗅いだりっていう、リアルなところをイメージさせる表現が強く言葉を使って生々しいものを表現されるのに弱いのでこれはいいな、となりました。

恋を

僕も2位です。皮肉な感じがエッチなのでそれセクシーって評では書いています

けど、同じ感じだと思えます。全体的な歌の水準が高くてなおかつ歌詞の繋がりが良く

出てくる印象です。1〜4首目まで「雨」「溢れる」「プールサイド」「傘」とかしっかりと

共通して出していて、話自体も何となく青春の日々みたいな感じで進んでいっている。目新しさという点だけ

ど、連作としての完成度をみたとときに全作品の中で最もこれが優れているように感じました。他の方どんな印象でしょうか？

加賀田

あ、あと、すいません、私は、自分の感覚、を言葉に落とすのがいちばん難しいと思

恋を

息遣いのものがありますね。

迂回

8位くらいで点付けてました。五首目の視点と、おそらくその生々しさみたいな部分だと思

米田

恋をが言ってるけど、動物的。体全体で物事

を捉えている感じ。4首目がひっかかるかな

恋を

4首目のこと言いますか？言うよねー僕もね正直、ちょっとやっぱり4首目はうーんちよっとうかかなと思

迂回

あざとさっすか  
はだし

浮かぶ絵の色が濃くて好きです、うちも4首目に目きになりました

米田

あざとってか急に大人になったなこいつって、おとなしくなっちゃったので、しゅんってなった

加賀田

ドラマチックほしかったのかなって……なんだろう、まとめにかかっちゃった！とは思

恋を

「海に行こう」が決定的にダメなんだと思う。そういう借りてきた感じがさっきいった生々しさと相反するから、これにはあんまり



手触りがなくて

はだし

うちもです、海がなんかこじあけちゃった気がして

恋を

でも、これだけで倒れる連作なのかと思った時に全然踏ん張れてるなというのを僕は感じたんですよ

米田

あとは、2首目の「夏休みたち溢れっぱなし」がもうちょっと。あなた誰目線なのってのとワードがいまひとつピンとこないのと。恋を

「夏休みたち溢れっぱなし」のこと言う？言うよねー。評で書いてますがこの部分も僕はちよつと「甘さ」を感じちゃう。でもこれは前半の「運びづらく机を持っている二人」っていうのが良くて、このフラフラの感じが「若さ！」って感じで眩しいんですよ。だから最後まで勢いで許せちゃうというか全体としてはVって感じでした

加賀田

頭で状況がイメージできて、それに対する感

想でできた一首、っておもってました

昔の、学生時代のこと思い出して、あー、あふれてたなーっていう。まぶしー、って。

米田

これは回想と採る？子供を見ている大人と採る？

加賀田

回想派ですね

恋を

回想ですね

米田

あ、そつちか。大人目線で考えてた。グラウンドで準備してるのみで、青春だねー、みたいな。

恋を

運びづら「そうに」ではなく「づらく」と言っているところに見ているのではなく実感がありません。

米田

夏休み「たち」が子供たちにつながる部分に見えない？遠目というか

恋を

うーん「たち」は自分たちに近いからそうい

う親しい表現になっていると捉えましたね。

学生にとって「夏休み」っていうものが近い存在であるっていうことです

加賀田

遠目としてみても、自分の過去にあったことと重ねてるのかも、です

米田

うん。加賀田さんのそれに近い。だから、「夏休みたち」に自分が含まれていると考えづらくて、単なる傍観みたいな。

恋を

これ「づらく」が良くてなんかあえて「持ちづらく持っている」みたいな感じにもとれてそれこそ何か青春って感じがして、「子供たち」には行かなかったなー

迂回

五首目でけっこう視点がずれたというか、別の世界にいった感じがあったんだけど、これは全体の構成としてどうでしょ。ぼくは「モニタージュだしアリかな」と思ったんだけど何か仕掛けとして見られるかな

米田

5首目は、動物的と捉えるか、戻りたいって

捉えるか。

加賀田

さっきの米田さんの視点で気づいたんですが、これ、保育園とか学校の先生みたいなひとで、子どもたち見ながら自分の記憶を重ねてるのかも

恋を

なるほどー言われてみると「クレヨン」とか「つくる」とかがそれっぽいな

加賀田

今の風景と、過去感覚がだぶってて、モニタージュ

迂回

それまでを回想してするなら解決できるのか

ナイス害

夏休み、プールサイド、クレヨンって幼いワードが並んでるけど、ヒートアイランドは大人っぽくて、松本大洋みたいなアダルトな子供のイメージだった。鉄コン筋クリートみたいな

伊舎堂

社会の教科書とかの言葉ですよねヒートア

イラント

加賀田

子どもたちに見せてるのかも、で、自分も大人だけど、子どもの部分がめっちゃ反応しちゃってる、みたいな

恋を

過去と現在のモニタージュだとなるほどタイトルにもちゃんと意味が出てきそう

伊舎堂

過去と現在、他者も自分のモニタージュ。

ナイス害

ただ、なんか読みづらかった。情景は良いんだけど、リズムが引かかって外しちゃった。

伊舎堂

リズム 思いますね。

米田

リズム特にどのあたり？

ナイス害

1、2、5首目かな

伊舎堂

冒頭の うつらうつら初夏 でいきなり破るのか！って反抗心はかんじました

恋を

僕はむしろすごいスイーツと読めたんですよねそのあたり。破調だけど心地よい

迂回

あーリズム 三首目、「なんにでもなる気で嘘つくる」ちよっと読みにくかったです。音は合ってるんだけど

加賀田

感覚でつくってる感じだと、音数とかより自分の気持ちよさでつらぬいてるのかもですね・・・

伊舎堂

ただ夏の ぼんやり感、みたいなのを表現できてるって捉えると、夏のぼんやり感 は捨てがたいのでちよっとみんなの評きいてゆれてます

恋を

けっこう追体験できる魔法がかかっているような感じがするんだけどな作者の気持ちよさを・・・でもそうか僕がいつもちゃんと短歌を読まないからなあ……

はだし

するするとこの人のリズム持ってるような

米田



1、2首目は調になる根拠がちゃんとしてるかな。5首目はうーんって感じだけど

### 伊舎堂

いわゆる ハンドルネームの破調と本名(?)の破調って責任感がだいぶちがうというか。この破調はなんか、本人が責任もって、手段としてやってるかんじはしちゃうんですよね、 傾向として。というところで恋をさん側に付きます

### 恋を

ちゃんと音数で読むと「うつらうつら」とか「ヒートアイランド」とかのむわっとした感じが出てこないんじゃないのかな分かんないけど……

### 加賀田

計算してると思っています！

### 迂回

一〜三首目の上下でぶつ切りになるのはモニタージュぽいなあとも思いましたが、回想ほくもあるか

### 米田

うん。モニタージュ論は理解できた。やっぱ4首目だよ4首目。

### 伊舎堂

4首目問題は、なんでしよう、甘すぎたり、安直だったり、締めにかかっている、の拒否感があるんでしょうか？

### 米田

大人感。そこから5首目につながっちゃうから、5首目も単なる戻りたい願望に見えてしまう。

### ナイス害

幼さなら幼さ、エツチさならエツチさ、をハッキリして欲しい派。かといって中学生のエロさでもないし、で、どっちやねん、みたいな

### 伊舎堂

夏ってそこらへんおかしくなる季節じゃない？大人びてみる子供とか、童心にかえる大人とか、

### 恋を

害さんの話については絞らなくていいかな、という感じなんですよね。幼さとエツチさがあって微妙な感じがまさに若さなんじゃないか……的感じで……

### ナイス害

若さかあ、それをきつと忘れてる歳だ……

### 米田

いやー、4首目は若いかい？、という感覚。晩夏で締めちゃってるからかなー

### 恋を

真夜中に「海に行こう」なんて言わなくないですか？大人は。大人が言ったら僕はギャグと捉えちゃうかも

### 伊舎堂

あした仕事ある大人が無理して遠出する「若さ」？でもそうか、晩夏がだいぶ 老成なかんじにもってっちゃう

### 恋を

後半は確かに年取ったかもな。「傘を並べた歩いた晩夏」

### はだし

初夏ではじまって晩夏がくるからおはなし終わっちゃった感あってヒートもすきなんだけどぽつんとおかれちゃってるよう

### 迂回

はだしの感覚に近いかな。初夏始まりで晩夏が入るからそこまでで一連、最後大オチ、みたいな読み方したくなります



加賀田

晩夏、ずっとでてこないですよね若者の語彙から

伊舎堂

インドア＋本好き＋若年寄りのワードですよ晩夏は

加賀田

やはりまとめよう、に重点が来て老成した若者が先生になって、子どもたちと触れ合って回想して昔の恋思い出してー、FIN、ですかね

恋を

初夏から4首目晩夏なら5首目の感じが違うっていうあれですかね？迂回さんは……

迂回

連作の流れの大オチとしてきっちり効いてるかなー？という所ですね、歌自体はとても好きなので効いてて欲しいんだけどオチとして持つて行くとうたのパワー減じないか、と

恋を

なるほど。やはり4首目が前後をつなぐ橋としてうまく機能していればまた違った形に

なっていたかもしれませぬね。

米田

あれ、てかこれ「傘を並べて歩く」↓「海に行こうって言う」なんだね。誰に言いに行くんだろ

伊舎堂

誰に言いに行く、というか歩いて時間稼ぎをしてるんじゃないですか言い出すまでを。

米田

あー、それは若い。たしかにYoung.

恋を

「言うこと」の方に力点がいつているからこういう表現なんだと思っていました。言うことに意味がある

伊舎堂

でもこれも4首目の決まってる感じ、の引き起こす問題でしょうね

ゆら「やさしい爆撃機」

審査員……恋をしている・ナイス害・伊舎堂・迂回・米田・はだし・加賀田

恋を

ゆら「やさしい爆撃機」に行きます！ 米田さんが1位スコラブさんが3位です。米田さんお願いします！

米田

応募作の中で最も人生を掬えている、というのが評価した点。単なる連作、というよりも、この人の生き方、みたいに読み取れました。その方向性のモチーフがタイトルの「やさしい爆撃機」。5首目により鮮明に出ています。が、主体の生き方の目標のようになっていて。戦場に笑顔で向かっていくような、ずんずん感、というか。もてるものすべてをここに詰め込んでいる、そのさまが好きです。でも、もてるものすべてをつぎこんでいるものだから、

1首目、乱暴な口調になる。

3首目、ラストオーダーかなしみ

4首目、外部は異世界になる。

そういう、他は知らない！私は生きる！というさま。

人生観が最も伝わってきた、という意味で1位かなと。

恋を

そうですねこれは最初に議論した2作品とかと違って、その人！っていうのが色濃く出た連作に見えます。ちよっと僕これあんまり注目できてなかった連作なので、先にご意見ある方お願いできればと思います

伊舎堂

一首を選ぶとするとどれになりますか？  
二首目の爆撃機、ですか。

米田

一首選ぶんだったら1首目。これが爆弾的。

伊舎堂

よくぞああいらっしやったなお客さま満席ですがどうにか座れ

加賀田

セリフで始まってますよね、爆撃機のひとつの。あ、いや、マスターの？

米田

とにかく乱暴に、自分の世界にやってきた獣を迎える。まあ実際に言っただけはないんだろ  
うけれど

伊舎堂

「どうにか」の語彙は、他人にも自分にも向いてるテーマ、なんでしょうね。どうにかやってきた人なんだ。人生のいろんな場面で  
ナイス害

普通、普通ってか、ああよくぞって詠みそう  
なんだけど、よくぞああって、なかなかだよ  
ね

米田

ちよいちよい語句ずれるんだよね。爆発する  
のだよ

加賀田

物語な印象で受け取って、そのやさしい爆撃機がいるお店の生活、みたいな。ストーリー性高くて面白いと思っただんですが、歌として  
ぱーんとたっているものが、ちよっとみつけ  
にくかったかな、という

恋を

うーんなんだろうな僕はこれいま読み返す



と、2首目とか4首目みたいなワンアイデアがあつてそこで満足しちゃつてる感じがあつてあまりハマらなかつたかな。「ワツフルにコーヒー」がどういう効果をあげているのか、とか詩になりきれてなさが全体的に感じるんだけど……

米田

2首目はねー。説明的と採つてもいい。でもその後に客席へが倒置法的に来ているから、爆発つていう共通点は保つていると思うよ。4首目は、他の世界との違和ですね。違和つてか知らないつてか。そんな知らんよそれどころじゃないのよという暴論。ロックンロール。

恋を

なるほど。割合「カフェ」であることを前面に出し過ぎていいるのかな。そこを統一するところに意識がいつて一首一首の強さみたいなのが薄まっちゃつていいるのかもしれない。

伊舎堂

センスとか単語のチョイス 発想、つてので競われてるのを見てくとこの「口調のおもしろさ」つて評価軸は新鮮です

迂回

3首目「こぼされた」の受け身っぽい表現はどういう感情なんかな あと吹いたは誤字なのか

恋を

うん、3首目も気になりました。一緒に吹いたの部分

伊舎堂

なんか演歌っぽい啖呵の切り方で んーとはなりました。

加賀田

誤字かなーとみてました

はだし

じぶんも誤字かと

米田

こぼされた、は自世界への侵略で、吹いたのはラストオーダーの声で、かね。いやごめん誤字説濃厚だけど

はだし

客がこぼしたんやおもつてた

迂回

自分の世界守りつつも、けっこうお客の世界を愛してそうな気配を感じてたので、「こぼ

しやがつて」のニュアンスがちよつと食い違つか？と思つたんすよね

米田

こぼしやがつて、というよりは、自然現象的にこぼされた、しょうがねえなあ、みたいな？

迂回

雨で濡れちまつたよ雨め、みたいな感じか

伊舎堂

めちやくちや強引な読みかもですけど、ここで誤字つちやう荒っぽいウエイトレスさんの作つた連作……つて読みかたはどうですか

恋を

伊舎堂さんの読み方素敵

はだし

キャラ立つてきますね

加賀田

全部語りかけてくる感じなので、荒っぽいウエイトレスさん想像すると世界がきますね

伊舎堂

プロフィールを80歳にして応募してきた一人ごつつのお笑い一次模試みたいな

恋を

作者のキャラ含めの作品

伊舎堂

このべらんめえ口調を楽しむ、口調が楽しい、って無かったきはします他に

ナイス害

口調はたしかに新しかった

恋を

1首目はでも確かにいいですね。僕も初読時にこの歌だけ〇がついています。

はだし

これ常連とかへマジで言ってそんな気もしてきた

米田

連作として一番素敵な姿勢、というか。心の中なかで言ってるか自分で言ってるかで、まあかなり変わってくるか

恋を

でも僕はやっぱりあんまりテンションの乗ってくる連作に感じられなかったかもな。この連作を作った作者の人の根底にこういう感情があるようには感じられないというか、僕は何となく「やさしい爆撃機」という言葉

が先にあって、それから歌が発生していつ

ている感じがして苦手なのもかもしれません。

「こういう面白い言葉を思いついたぞ使ってみよう」的なことなんです、どうかな？

米田

虚構、信頼できない問題？違うか。

迂回

シチュエーションに対する爆撃機ってワードの必然性？ウェイトレスたしかに爆撃機やな、って完全に説得されきったかというところでもないかも

恋を

うーんいや、虚実はいいんですが「この言葉を使いたいから短歌の形にうまく入れ込んでみました」みたいな

ナイス害

恋をにそれ言われると、自分の連作もそう思われてるのかなーって心配になる…

加賀田

実感から出てきた表現かどうか、ってことですかね。創作のたのしさはすごく感じるので、好き度はあるんですが

はだし

そこはこもってる気がするなあ

米田

んー、4首目あたりかね。根底に自世界があって、他、ってのは読み込みすぎ？

加賀田

作るたのしさが大きくて、なんかこう、そっちが優先されてできてくる言葉、表現はあるのかもしれない、と思いました

伊舎堂

それこそワツフルコーヒーフラツペナポリタンフロート…みたいに単語 並べる一首が要ったはずです、爆撃機だなあ、と思わずには

迂回

主体の姿勢は示せてると思うー 外部を冷めた目で見つても受け入れてる、なんとかしてる、感じ

加賀田

あ、実感とかはこもってるけど、読む人との世界の繋がらせ方が薄い、のかな…いしやどうさんのいうような、世界の柱になる一首が

恋を

そうですね、言葉が先にあってというのは否



定はしないんですがそれをやるならそれ相應の見せ方の努力みたいなことをもつとしてしかるべき連作じゃないかなと思うんですよね。さっきの伊舎堂さんみたいなギミックを入れたりとか。この人の連作は「やさしい爆撃機」という言葉を見せること一点に集中して、それ以外がないがしろになっている印象があるんですよ。それが「言葉を思いついて満足しちゃってる」的な感想に僕はなったりするんですよね、なんかひねくれてる感じがしてきたけど……

米田

ああ、言いたいこと言ってそれだけ、ってことか。2首目はたしかにギミックほしいな

伊舎堂

「おっしゃるのだが」の切れ方で自世界vs他者、と読むのはかなりカロリーがいるかもしれない。詠んだらすぐ次に行っちゃう、みたいな（よく言えば）運動神経の良さが、誤字だったりを引き起こす、ってのはこてんぱんにしすぎかなあ

加賀田

あああーカロリー、消費してつながれたらめ

っちゃたのしいと思いますね、ウエイトレスさん、くせになるかんじする。

米田

いや、それは確かにあるし、言って満足してそう、ってのを良い点で捉えちゃったからなー

加賀田

おいてけぼり、か、くらいつくか

恋を

ああ、なるほどそれを美点にか。なるほど面白いですね。そうかそうか。1首目の口調をすごい盲目的に信じるなら美点ともとれるかもしれない……

米田

そこでこの世界にくらいつくことができるか、ってのはあるかもしれない。

伊舎堂

辻井竜一さんを好きな米田さんがこれを推すのはなんかでもじん……ときます。もはや選考会の言葉じゃない言葉を言っちゃってますが

米田

あー、辻井さんなー。たしかになー。単語は

どうでもいいのかもな。

伊舎堂

短歌で啖呵を切ってくれる人ってかなり少ない気がするので印象はいいんです。

恋を

この人ももっと長い作品になったら味が出るのかもな〜とか思ったりもします。

伊舎堂

あー、30首とかでも駆け抜けられそうだしおもしろくなってきそうです。ね途中で

恋を

うんこういう感じでナチュラルにずっと続いていけば面白くなりそう。匂いありますね

はだし

長さってのもありますね、5首だからこそでてくるいい／わるい

恋を

そう、今回の5首連作っていうのは結構難しい部分が多いかもしれないですね

はだし

もっと読みたいは評価できる点かもしれない気がしました



米田

この連作が良い、ではなく、この人が良い、  
というのはいさなからずあつたりもする

伊舎堂

うんうん

萩野聡「息が聞こえる」

審査員……恋をしている・ナイス害・伊舎堂・迂回・米田・はだし・加賀田

恋を

はだしさんが一位で取っている萩野聡「息が聞こえる」にいきます。はだしさんお話をお願いします！

すごいリアルさを追及してる気がして、誰かと会って話したりしても別のことを考えてたりする瞬間。ゼロコンマ何秒みたいなんをきちんと書いてるなーと思って。この連作はたぶん外の意識で話してるものとは別の所、頭の片隅のことっぽく続いてくからそのあたりで最後同じこと思ってるのかが普通以上によく感じられたりして、なんかいいなと思いました。

恋を

僕もこれ候補作には入れませんでした。がやはり良くて好きな作品でしたね。はだしさん

のゼロコンマ何秒みたいなんっていうのが確かに！って感じですよ。「最初の雨が突き刺す」とか「目の中が薄い」とかいいなくって

米田

やさしさがいいね。あとラストあなたの息だ、に確信めいたものを感じる。この一首は評価分かれそうだけど

恋を

これ「あなたの息だ」をお互いがお互いに思ってたってことですかね？

はだし

自分はそうとらえました、君とあなたがまじってるので

恋を

ああいいですね。「息が聞こえるあなたの息だ」っていうまさに息遣いがピタっとくる感じ

加賀田

なるほど、分かち合ってるから！そのままですよんでましたが、そうするとタイトルも深い感じでつながりますね

伊舎堂

一首目の【こんなに薄い人】を言うことで、

連作中では明言されてないけど【こんなに脆い人】【こんなに弱い人】とかまで言ってる一言って気がして、ここはテクニカルだと思います

米田

なんか、あなたが空気みたいな存在というか、そういう意味で息なのかなーとは思ってました。

迂回

脆さ儂さ、の印象が強かったです。「最初の雨が突き刺す」とかのちょっと歪んだ言葉の配置とかも相まって。

恋を

関係性は変わっていつてる感じ有りますね。最初なんか浅瀬で見てるだけだったんだもん

加賀田

徐々にちかく、で、息、にいくのすごいですね

伊舎堂

うーん。プールの浅瀬？とか、「眠りを分かち合う」だと両者寝ちゃってて 息を聞けるのか……みたいな細かいところが気になり

ました。

恋を

あごめんなさい「浅いところ」ですね正確には……。多分これ4首目に出ているけど「鬱」気味の人と恋人同士になっているっていう背景がありそうですね

加賀田

私は4首目の、「鬱っぽくない」にひっかかったりしましたね・・・

伊舎堂

うん、鬱 っていうっちゃうんだと思いました  
恋を

鬱の歌僕はイイと思いました。鬱の人をうまく捉えられていて

加賀田

それまで繊細だったからかな、ストレートにきたなーと。正直な言葉なんでしょうかな

米田

浅瀬ってか水はないのかな。だから浅いところってのは彼女との関係性、かな。鬱はたしかに？がつく。

恋を

鬱の人って結構元気で明るいつきがあった

り、かと思えばずーんときもあっていま

「鬱っぽくない人」と「いま咲いてない桜」

がちょうど対比になっているから、「いま明るいけど沈む人」と「いま咲いてないけど咲く桜」みたいな。鬱言っちゃっていいと思っただけだな……

はだし

鬱っぽくないはそうじゃないもってるからっていう関わってきた長さもあるのかと

伊舎堂

短歌の中の鬱っぽい人の詩的さを現実の鬱っぽい人の情報量が上回って、食い破っちゃうからこれは絶対言っちゃだめだろって

なったんですよね、雨とか。薄い目、とかは良い！だったんですが

米田

うーん、「明るい人だ」くらいで終わってたらしっくり来てたのかなー、と。

恋を

ちよっと荒いのかな

米田

鬱って言葉が強すぎるのかな。たぶん「ぼい」程度だからそこまで強い要素として盛り込

んでいない雰囲気を受ける。

伊舎堂

前半で繊細 仕上げ、のスタミナが切れた4首目なんだと思います

加賀田

情報、そうかもしれないです。鬱、を、現実にもものすごく捉えてしまっ、もうちょっとなんか包んでだして、でもわかる、になったからおもしろかったかもしれない

伊舎堂

(4首目が鬼門になるのおもしろくないですか?)

恋を

(確かに)

伊舎堂

(傾向)

加賀田

(ほんとか・・・さつきから4首目4首目)

米田

(連作構成として4首目あたりでダレる、というのはあるかも)

伊舎堂

で 五首目は決め！だから名作率たかい



恋を

はだしさんの話を聞いて読み返して色々すると僕の中で結構順位があがってきたこの連作

米田

まあ私はむしろこの連作は3首目がいちばんよくわからなかったりもするんですが。静かな君と饒舌な君ってのは同時発生的に起きているのか、それとも過去と今なのか、ってあたり

加賀田

「静かな君と饒舌な君」でなんか、彼女の本質チラ見せかなと思ってきました。で、鬱になげたかったのではと

伊舎堂

あ、ワンクッション

恋を

そうですね僕も鬱につなげる一首だと思えます。

1首目でグレーのワゴンが横切ってふたたび三首目で「鳩」(グレー?)が横切るのってなんか意味有るのかな

はだし

これは時間の流れかなくなってきもします

伊舎堂

グレーゾーン、みたいな言葉もあるし躁と鬱の淡いの領域の承知っぼいですね

加賀田

どんだん近づいて行って、鬱な核がわかってきてでも最後わかちあうから、いいなとはおもうんです、すごく  
恋を

あーなるほど境目か。そしてその境目がなくなっていくって最後か。

伊舎堂

さいごは良い、3と4、が、う、う、

加賀田

その、境目のみせかたが鬱ー！ストレート！なのが一、ああああー、薄い目とかの言葉からきてほしかったー

恋を

うーんそうか、「鬱」ストレートの拒否感がここまで複数人にあがるのはやっぱりダメなんだろうな

米田

うーん、鬱つてのがやっぱネックかな。これ

そこまで言っていないような気がするんだよなー。

伊舎堂

連作、よりもはだしさんの評を読む方が面白い、気がするのは問題なんじゃないかってのも思うんです 雨と薄い目、は良いけど

迂回

ガラスよりは軟質なんだけどはかなそうな手触りは好ましいんだけどいまいち入り込めなかった理由を言語化できないな…鬱、の強さもたしかになあと思いつつ

はだし

鬱、かー

ナイス害

キリンジの Drifter 好きだから、鬱ってワードには抵抗ないかな

加賀田

なんででしょうね…作った方も迷われているかも、その手触りどうですか

伊舎堂

ちようどいまスイートソウル聴いててびっくりしました

迂回

入り込めなかったゆえ、なのかもだけど、全部3句切れでいいのかな？この内容にしてはするする読めすぎた感じも受けましたはだし

あーかたちに目いってなかった

伊舎堂

なになにをしてて + なになに が手癖ですよね

迂回

て ありますね

米田

あー。(人のこと言えない)

加賀田

気づかなかった・・・

恋を

あーそうだ。そうですね、それ紙に書いてた。なんか僕が1位に推してたかのようなテンションで喋ってて忘れてた

迂回

好きが先立つと気にならないですよねー

米田

もしほんとに鬱だったら3か4あたりで破調があつてしかるべきって感じかな、たしか

に。

伊舎堂

なになにをして+なになに は土岐 友浩さんとか、五島諭さんとか、なんというか淡？い生活 大賛成！ みたいな作風の構文って持論があります

恋を

グレーだなく

加賀田

構文としてしまふともう読んじやえ、てなる気がします・・・

伊舎堂

でも全体で3位以内には入る気する！良いので

米田

あー、全然関係ないけど、人↓君↓あなたつてのはすてきた。

恋を

この作者の方やっぱりそういう細かいところまで気を配っている印象がありますよね。そういうのは積極的に見ていきたいですね。



御糸さち「パンノアクラウ」

審査員……恋をしている・ナイス害・伊舎堂・迂回・米田・はだし・加賀田

恋を

御糸さち「パンノアクラウ」やりましょう。はだしさんが2位迂回さんが3位で伊舎堂さんも5位でとってます。はだしさんお話お願いします

はだし

これはなにより楽しかったです。場面設定が駐車場のみでしかも人が全くない環境でなに伸びやかな感じの歌がそろって、むこうの人は楽しんでるんだろうなって。タイトルとかもなんか浮かんで「いいかも」をそのまま使ってる感じでさっき作品がいい人がいいみたいな話しあったけど、それでいうと後者のよいところが出てるんかなって思いました

恋を

そうですね、僕も結構イイ連作だなと思って

チェックつけているやつですね。特に1首目の空間の把握の仕方がまさにこの人ならではって感じでおもしろかった。気になったのはやっぱり2首目でその良さを説明しちゃうって印象があったんですがどうでしょうかね？

迂回

視線の移動も独特で、この人の感覚だ！となりましたね

米田

(すみませんこれも4首目です)

置いといて、2首目は良い気がしますね。既視感のない発見。説明的とは感じなかったです。

加賀田

「空間か時間か分からないけれど」が一瞬どういうことかな、とはなりました…10分200円、って、くるからかな、その言葉になんか引つ張られたのかもです

米田

まあ、単独では成立しないか。連作中だからこそ、ってのはある。

迂回

1首目「時間貸し駐車場」の音がよくて、それを前提にしている歌だというのは甘めに見てましたね…

恋を

1首目の良さがあったから2首目への期待値がすごいあがってたのはあったのかもしれないですね

加賀田

あと黒塗りの高級車、ぶつかるとか！って思って笑ったんですが、「走ってるときよりかるといいうのはちよっとわかってないかもです

米田

あー3首目は最初に触れときますか。これタイトルですよ。なんかポケつぶみたいで嫌だけど、RUNってことでいいんですよこれ

迂回

10分200円に囚われてる高級車はちよっとおもしろい、というか価値軽くない？みたいな

加賀田

とまっている状態を見て言っているという



ことですかね

恋を

3首目は止まっている車の車種をほとんど言っているんじゃないですかね。最初の「走ってる時よりかるい」が僕もよく分からなかったのは同じです

はだし

人が乗ってないからかと思ってきました、駐車場やなーのきづき

加賀田

あー！

恋を

無人ですよってことか

加賀田

なんか、ぶつかるもののイメージだから、黒塗りの高級車。ぶつかるまでは軽いぜ、と思っただけ、そうかー、駐車場の堪能なんですかね？

伊舎堂

すごいな、そんな言い方あるんですね…すごいな

迂回

そっちのが素直か

恋を

米田さんのRUNが分かかってないかも。ユー

モアレレベルが低くて申し訳ない

米田

ラ（パンノアクラウ）ン

はだし

！！ランがない

加賀田

！！高度！！

米田

だから走ってないってことなのかと

恋を

ラパン・ノア・クラウンっていう車がそれぞれあるからそれだけだと思ってた。ランがない いっぱーん

伊舎堂

この国で育ってコント作品とか消化してきた人間にとって黒塗り、はぶつかって怖い人降りてくるのアイテムなんでそこ回避した車にしてくれたら！めっちゃいいですね、走ってるときより軽い。

加賀田

音の楽しさかと思っていた…

いっぼんだー、コントよりの頭でごめんなさいなのもしれないー

恋を

5首目は今度ナンバーにいつていると思うんですが3首目と割合やっていることがかぶっているというかそんな感じも受けたりしたかな。思っているほど僕はこの繰り返しで畳みかけるやつがこれらの歌の場合成功していないんじゃないかと思ったりします。「走ってるときよりかるい」は良かったけれど

米田

テクニク偏重などこあるよね

加賀田

三首目だけだったら際立った、とか。

恋を

そうですね、何回もやるほどの魔術的な感じがなかったのかも

迂回

並んでる、の視点が被ってるのはちょっと惜しいかな 並んでる車を指差し見ているのは楽しい雰囲気なんです

伊舎堂

安立、を言うと言えかけての足並み、にはくるものなかったですか……？まぢがった足立

米田

あー、あー？

加賀田

地名のときめき！

伊舎堂

なんというか連作全体を、言ってることの意味をとる……というよりは、一首目の「空」、これ夏の空ですよ、その下にいてちよつと日射病的にシリメツレツなことを言ってる作中主体がいる、つてのを笑うかんじがありました。キスをする、とかの歌も、なんというかずつと駐車場にいたひとの出す回答として「おいおい、御糸 がやばいこと言い出してろぞ」を笑う、というか。

加賀田

あ、おんなじもの繰り返し数えたり、つていうのは（日射）病的かもしれないおもしろさですね、ぼーつとなる

迂回

あんまりヤバい人見てる感覚はなかったな

加賀田

好きなもの数えちゃう人、ぐらいですかね

伊舎堂

でも はだしさん米田さんの読みからさー、テクニカルなところもあるし、つてとこでちよつとぼくの中で順位変わるくらいのことです、すごい

米田

4首目ですが、これは正直、無い、と思いましたが。ここで省いたに近い。

恋を

4首目は僕も明らかに落ちている印象ありますね

伊舎堂

うーんそっか、敬語の歌って 少し前ほどは不気味な効果あげなくなってきてるのかもですね、あと発想的なところか

米田

なんか1首目を信じていたから、それが完全に壊れた瞬間、というか。陳腐になってしまったところが。

加賀田

王様ゲーム……わたし、この4首目があった

ので、あ、黒塗り笑っていいやつかなと思つたところはあります

迂回

終始きやつきはしゃいでて楽しそう、が評価ポイントだったので、4首目も主体が楽しそうだからおっけーおっけーでした  
はだし

うん、夏のふざけたかんじ

伊舎堂

ですね、鬱とか爆撃機の中で こういうひとの存在感、つて嬉しさがありません

米田

なるほど。定型とか大喜利とか気にしすぎかなー

加賀田

でもある程度、譲れない視点がないと選べないし、いいんじゃないですかね……

恋を

4首目は自然とやっている行為って感じがなくて違和感があるのかもな他は楽しんでやっているとちゃうんだけど、うーん何でだろうな

米田



なんかかつちりはまつてて、あ、落ちたな。  
って。メタか。

加賀田

思いついちゃって入れたくなった歌、と思っ  
たところはあります

恋を

「無理して笑わせようとしている真面目な  
人」の感じがあつたんだよな

米田

あー、「ウケを狙っている人」に対する既視  
感、はあるかも

迂回

王様ゲームっていうモノの強さのせいかな

1

伊舎堂

3番 赤い 6番 白い って、説明のため  
だけの言葉をこんなに並べてポケる人のポ  
ケにちよっと、鼻白むのかもですね

恋を

それはありますね、ある意味番号とか色とか  
の「面白くするための道具が揃っている」こ  
とが裏を返せば、ネタっぽく感じられるのか  
も

はだし

うんうん、ひらめいた、やっちゃおーとおも  
ってたから あざとさにつながるんすね

迂回

動かせない・動けない車に対してそれ言うア  
ホさがあるんだけど、それこそ説明したらだ  
めなやつだな

伊舎堂

初見では、天然ちゃんの発言っぽく読めたん  
だけど… 不思議ですね、合評って

加賀田

「面白くすることに対しての既視感」って、  
この会では強そうだから、不利ですね…

伊舎堂

むずかしいな、4首目

米田

詩とネタのギリギリのラインを走っている  
ところがあるからなー。そこまで斜に構えて  
見なくてもいい気もする

加賀田

普通に、というか普通によんだらたぶん、く  
すつとくる人多めの歌と思います。普通って  
なんだ、ですけどどうもくいえない

伊舎堂

やっぱり切実な人の生活の営み…みたいな  
のが短歌で勝ちにいく定石なのか…って  
思うとブルーになるので、僕はパンノアクラ  
ウと行事には出ない、でいきたかつたんです  
が、今夜あがつたやつだと鬱のやつ、がやつ  
ぱり強い空気であるのがすごい。選考会の読  
み、って普通の読みではないですよ。タイ  
ムラインとか。歌集で通り過ぎる、人に合わ  
せて編まれててくれると助かる

米田

うーん、明るすぎ、明るすぎかー。5首目の  
着地点がもう少し1首目的だったら受け入  
れられたかも。

迂回

5首目もこう、閉鎖されたマイ楽しい楽しい  
空間が破れて夏っていう季節に回帰、な感じ  
が詩の方向として良いでした。

加賀田

5首目、夏に舵をきりなおしたかった感が、  
どうなのか、って思っていました、迂回さん  
読みにそうか、その視点、ってなりましたの  
で、OKです！



米田

上の句重すぎないっす？うーん。

迂回

字面の重さだとそうかもー、だけど、仕掛けとしてはアリかなと。並んでる、の視点被りはさっきの通り惜しいんだけど

伊舎堂

日本の夏って渋滞の夏、って感じがするんですがこのナンバープレートの重さで渋滞が表されてるって読めました（肩を入れこみすぎかもしれない）

米田

ああ、渋滞を1台だけ抜けだして、ひょー！  
夏！って？

伊舎堂

ですね、なんだったら路肩も使っちゃうみたいな

米田

それはわかる。それはアリ。

# 選考会

## 二日目(昼)

まるやま「行事には出ない」

審査員……恋をしている・伊舎堂・迂回・米田・加賀田

恋を

まるやま「行事には出ない」伊舎堂さん1位の米田さん3位です。伊舎堂さんお願いします

伊舎堂

「そう思う」95人に背を向けて のこり5人とはじめる宴

の一首に惹かれまして、そうでなくても五首「読める」作品の多い連作だという評価でした。

会計用トレイは透明な針の山 香典袋は買  
い忘れた

これが「香典袋」でなく祝儀袋、だとうなるんだらう、と考えたときの「香典袋」は、「死」、会計皿のゴム針、針山地獄、みたいに連想の飛んでいきやすさまで敷設されると考えまして、そういう意味でも単に運動

神経だけで作ってる歌ではないのかなと考

えたり、評にも書いたんですが「行事にはでない」の行事、の中に夏の怪談話パーティ(?)

であったり、参加してる節分、も変な節分だったり、宴、少数派と行ってたりと、ちゃんと「行事」には参加してない。5首で表現を行う、として、ひじょうに無駄も緩みもない

かなと考えたので一位に推します！なにより面白いですし、なんたる星、の大賞として推しやすいのでは……というスケベ根性なんかも出てきてました。

海の埋めたてⅡ行事ではない、という把握もよかった。まな！さん小坂井さん、あとサンリオで5首かいた方もいて、なんたる星Ⅱおもしろ なんてでしょ？みたいなどころに球を投げってきた方のなかではいちばん抜けるかなって。

恋を

僕もチェックはついた連作でした。特に4首目5首目あたりの把握の仕方とか「見せ方」みたいなのが面白かったですね。ただ、なんというか前半三首の部分で僕は正直つまづいちちゃったというかつかめなかったところ

がありましたね

伊舎堂

前半三首ですか。

ビーム出す蛍光色の鬼たちにプラスチックの豆をぶつける

会計用トレイは透明な針の山 香典袋は買  
い忘れた

「そう思う」95人に背を向けて のこり5人とはじめる宴

米田

前半か。どのへんだろ。

恋を

「ビーム出す蛍光色の鬼」も「プラスチックの豆」も「？」となりました。単純に意味が分からないという事ではなくて狙いが分からないというか、僕の中で「笑わせるならちよつと安易だし何か詩的などころがあるとしたら見えてこないし」っていうような感想になりました

伊舎堂

「行事には出ない」という否定的な言葉から始めることである程度 批評性のある連作なんですよってところから 変な節分だっ



たり、少数派の自分をヒガミっぽくなく出し  
てきてるかなって前半3首も成功してるか  
なっておもったんです

恋を

会計用トレイは狙いは分かるけど「透明な」  
とかいるのか、っていうのと僕は香典袋↓地  
獄↓針山の連想は安易に見えちゃうんです  
よね。僕はひねくれているなあ。

迂回

多数派に迎合できないみたいな雰囲気があ  
って、そういう印象で読むと、けっこう全体  
まとまってるふうに読めましたね

米田

行事の反対が日常ではない、という点が好き  
かな。

伊舎堂

鬼の一首は、この「行事」からグラデー  
ション的に「海の埋めたて」に繋がるための、  
敷設なんですよきつと、詩的：詩的ではない  
かもしれない

恋を

なるほどそうですね。タイトルの「行事」か  
ら鬼への接続っていうのは確かに上手いの

かもしれない

米田

ビーム出すは遊園地とかのアトラクショ  
ンのイメージ。個人にとっては行事なだけ  
ど、多数から見ると行事ではない、というは  
ざま。

伊舎堂

メモリーツリー、じゃないですけど、じゃあ  
試しに読み込んでみるかって一首見てった  
ときにこっちの頭のなかのいろんなところ  
で灯りがポツ、ポツ、と点く感じが好みなん  
ですが、その点く箇所、がばらけてて。あ  
る程度ね、恋をさんの一首がいいです？  
選ぶとすれば

恋を

一首選ぶなら最後の歌ですね。これは僕全作  
品の中でも1、2を争うくらい好きな歌でし  
た

伊舎堂

「おまえだ」と叫ぶパターンの怪談を練習す  
れば外は初雪

あえて言うとしたらここで初めて「他者」を  
希求するんですよね。おまえだ、を披露した

い人の存在がはじめて、ほのめかされる。

米田

歩み寄りっぽく見えたけどどうなんだろう  
ね

伊舎仁

5首ぜんぶひねくれていると、なんかもう異人  
じゃんってなるところを、ここでなんとか、  
「ひねくれないとはいけなかった」作中主体  
の淡いみたいなものも見えてきている／見  
せてくれている

恋を

そうですね。「おまえだ」と叫ぶって最初だ  
けみるとめっちゃ悲痛な感じするけどこれ  
って全体通すと「へなちょこ」な訳でこうい  
う「泣き笑い」みたいなハイブリッド感が好  
きですね

加賀田

最後の、行事っぽいものにむけての練習、  
で、何とか外の方向にむかっていこうとして  
るよ、というかんじですかね

伊舎堂

もちろん、僕がこの作品を、笑った！ってと  
ころから理屈を肉付けしてつてるところも

あるので、そこまで読み込んでやる必要があるのかって言われると弱いんですが。節分の初春、で 初雪、の冬、で季節もひとまわりしてたりとか。足りないもの、としては何が考えられますかね？この連作に

加賀田

足りないもの・・・

わたし、アイテムというか、そういうものがいっぱいでてくるのが、面白いけど多いなって思ったところがあります。

迂回

それほど深く踏み込まないにせよおおまかなテーマは割りと見えやすい作品だと思うんですが、そうした時に三首目（そう思う）がそのまんますぎたかなと。これの陰で読みやすくなってる気配もあるので難しいですが：

伊舎堂

花曇り 的な言葉と逆、な言葉を配置しまくってますね確かに。ピームから始まり

米田

まあたしかに、ピーム、蛍光色、プラスチック、はちよつと単語としては似通っていて多

すぎる気もする

伊舎堂

内容重視の短歌がおきざりにする韻律：のところを比較的、3首目は、担当しつつテーマもくつきりさせる、働き者、な一首だし分かる、っていう位置づけとおもいます

米田

3首目はパターンのには通常1首目に配置されそうだけど、わざわざ3首目に入れてきたことに意義があるのかなーと。

加賀田

卒業公演の前なのはいいな、って思いました。

伊舎堂

陽光やスポットライト、的な灯りじゃなくてピームや蛍光色、っていう闇の中で 光るもの、の配置が作中主体のこの世での立ち位置とも呼応してるんじゃないかって思うんですが 「多いな」と思われるデメリットのほうにでちゃってるかも

迂回

ああ一首目だったらちよつとイヤかもなあ

加賀田

なんだろう：イラスト見てるかんじがした

のかな、言葉を配置するのがすごく上手いなという印象でした

迂回

もう少しでいいからリアルなモチーフ取り込んでたら良いバランスに見えたかも 三首目

恋を

ごめんなさい僕は全然3首目が読み込めなかったんですが、これって分かりやすい歌なんでしょうか？あれですかね特定の状況じゃなくて心情的にこうだってことを言っている歌なのかな？

伊舎堂

アンケート結果の円グラフ、の言葉のズラしですよね。具体的な情景というよりは。完敗じゃないですか、95..5って。

恋を

なるほどなるほど。僕多分香典袋の歌が前にあって、次にうたげっていうのがあったからお寿司食う場面が浮かんじやったんですよね

米田

ああ、輪の外で？



加賀田

お葬式？

恋を

そうそう。だから具体的にそういう場面「あの人がああだったよね」「うんうん」なんて言っている輪から外れて例えば関係ない話をしちゃうみたいなの。そういう人間ぼくちは、みたいなの

伊舎堂

宴ですね、 弔席も

米田

宴ってのは実際はやってないんじゃないかなーと思ってる。俺はこういう位置づけなんだ、という確認。でも、宴自体はやりたがってる。パレードに近づききれないかわいさ、歯がゆさ。

伊舎堂

そうなんですよ、これが「はじめる儀式」だとねえ、ちよつとまた異人ゾーンにいきすぎちゃう。宴、はしたいんだ。海の埋めたてとか、そういうのの側にいつつもアイドルの卒業公演、を見る客ってのも、いまはだいぶ多い数でしょうけどまだまだ五人、側の人たち

で。それでも海を埋めたてないといけない、くらい人間の多くなってる世界のなかではちよつと この作者のメンタリティだと生き抜き、がキツイじゃないですか。それくらい、なんだろう、提示ですよ。まるやま、さんの体感の。

加賀田

なるほど！

私は5人と宴になるので、5人はいるんだぞっていう、救いの歌かと思ってました。

迂回

あ、そうだ。僕も5人いるんだ！ってなったから、次の4首目は何人かで海見に行ってるイメージになってました

加賀田

そうですね、ひとりでひねくれてる印象がなかったの、「行事には出ない」けどけっこうたのしくやってます、っていう、そういう、側、のひとたちに寄り添うみたいなのところがあるっていうことなんですか

伊舎堂

おまえらとは気が合わないがおまえらとや

っていく、この「俺様」のまま、ってのはわりかし短歌のみならず文学、が果たす役割の公約数って気もするので、あんがい王道を走ろうとする気概も買いたいです。

加賀田

王道！言われるととてもしっくりきました

迂回

埋め立てがそういうモチーフだとは。確かに。ただそういう切実さよりも後半行くにつれちよつとかわいさを感じてしまったな

加賀田

切実さ、は、もしかしたら足りてないようなところじゃないでしょうか……あ、いや、いらないのかな、切実さ……たのしくすこしてるぞ！が多めなのかな……

恋を

「行事には出ない」ってタイトルで僕は「色んな行事に出ない」という感じで進むとは思ってなくて、たんと場面だけ見せていくのが僕にはそこに作者を含めた「人」がいなさすぎて熱量的に物足りなく思っちゃった感じかな

加賀田



私も、恋をさんの意見にうなずいています

米田

切実さ、はあまり感じなかったかな。

迂回

狙いによりそうですね完全に悲しい辛いものではないと思うけど、それほどきやつきやしたものでなく

米田

まあ、人はいないよね。大勢と私、という感じで、大勢側の個々は見えないし、たぶんこの人にはわからない。

加賀田

どっちともつかない、ぎりのバランスをとることに成功しているのかも、ですね。王道感はそのからかも

恋を

僕は最後の一首の「泣き笑い」みたいな感じが狙いとしてはあるんじゃないかと思ったけれど。だからそういう意味では「ぎりのバランス」みたいな方向自体はイイような気がします

迂回

五首目は僕も歌単独でかなり立ってると思

ったけど、全体の役割としてみるとどう読むかむずいっすね

恋を

最後はでも加賀田さんとかも言った「他者」とか「外」に多少なりとも向かう姿勢を表したかったんじゃないですかね

米田

そうですね。それまでの4首から「練習」というワードが出てきたこと自体が驚き

迂回

「残りの5人」と怪談するのかと思ったからあんまり外向きの印象じゃなかったかも

加賀田

取り残されている、というのを出したかったのかも

恋を

夏に取り残されているってことですか？

加賀田

夏に、行事に、出たいなーって気持ちのまま、練習を終えられないから、取り残されてるみたい

迂回

ああそうか怪談は夏属性だった

恋を

そうですねそれもありそうですね。「泣き笑い」の「泣き」の部分ですね

加賀田

私たぶん、外界に、ってニュアンスでとってますね

恋を

うん、歌上は「怪談を冬にやってる」ことで「夏に取り残されている」感じを出して冬の山荘みたいな窓の外に雪みたいな、孤独感もあってやっぱりこの人の状況を一番表している感じするなこの歌が。

迂回

そうかーそうなると5人が消えちゃうな希求、なのかやっぱり

米田

単なるひねくれではないんだよね。しがみつこうとしている。

恋を

外界から遮断された雪山の山荘で怪談を練習するまるやま

加賀田

せつない。途中までわーわーやってる印象な

のに、さいごのぽっん、としたかんじ



まな！「知らない事情」

審査員……恋をしている・迂回・米田・加賀田

恋を

では、まな！「知らない事情」にうつります。

加賀田さんが2位僕とナイス害さんが3位  
とっています

加賀田

知らない事情、は、もう一位にしようかどう  
か悩んだやつです。おもしろさ、のコントロ  
ールが上手な印象でわりと日常生活の、多く  
の人に近いところから、ふとしたおもしろさ  
を拾い上げてきている。二首目なんかは、あ  
るある、の歌で、三首目の神様のうたは、な  
い気がするけど、あるある、になる歌。三首  
目はなんか本音が出て、近づいてこられた感  
じ。で、最後の終わり方が、自意識の不思議  
なところをすくい取っている感じで、他人事  
なのか自分のことなのか、境目がいきなりわ  
からなくなつて終わるので、なんか、おもし

ろかつたです。

こういう、おもしろさっていうのは大事な、  
なんたる星、の大賞に輝かせたらいいんじや  
ないかな、という、意見でした！

恋を

小生も3位でとっています。これは僕もかな  
り上位と迷つての3位って感じですがよく可  
能性をかんじる連作だったなと思います。

迂回

伊舎堂も言つてたけど、おもしろ狙いつて読  
んだ人が多いんですかね？あんまりそうい  
う感じがしなくて、読み取りに結構難儀しま  
した。

恋を

これもある程度その要素あると思いますね。  
ただ、僕もあんまり「おもしろ」をまんま狙  
っている作品苦手なんです、これにはさつ  
きのまるやまさんの作品じゃないけど「笑い」  
以外のドキドキがあつて言葉にすると難し  
いんだけどそこが強烈な印象でしたね。面白  
さだけで進むんだつたら僕も厳しいと思ひ  
ます

加賀田

おもしろく見せたくて、おもしろく作ってい  
るんじゃないかと、その人が書きたいように作  
っている、自然に出てくるおもしろさ、があ  
るかなと思います

米田

おもしろでとつてくと4、5あたりが難儀だ  
よね。てかその前にはちやめちやなりズムだ  
けど、そこはどう受け取った？

恋を

そうですね、僕が唯一推しきれなかったのは  
その部分でしたね書いてますけど。

加賀田

リズムものすごいですよ……もうそこはな  
んともいえない……

恋を

定型はずしているからこそこの人が自由に  
詠っていることが伝わるって面もあります  
が、にしても多いというか、工夫している痕  
跡があんまりないですよ。

迂回

整つてる感じはしないですねー さてでは  
この内容で整つてたらどうなるかという  
効くのか、ということもあり 整つてないか

ら効いてるのか、というところでもない気もするしで

米田 整っててもいいんじゃないかなーと。だから私は2と5に○がついている

加賀田

最後とかは口にだしてもおもしろかったですけれどね

恋を

そうですね、だから多分「短歌的」には甘いところがあるんですけどこの人の歌に秘められてるパワーとか可能性的なものがアツくて推していきたいん気持ちなんですよね。神様↓海↓電話って言う流れで、世界の秘密から何かこちらに連絡というか信号が最後贈られてきた感じがしてこれがすごい胸熱だったんですよね僕は。それをしかもカッコヨクまとめないでコミカルに描いてるのがまたすごいなって

米田

なるほど。4首目は読みがわかりづらかったんですが、これも啓示みたいな受け取り方なの？

恋を

そんなガツツリ啓示ってことではないと思いますこれは多分他者の知らない事情から「自分だけが知っている事情」に移っていったシーンととりましたね。ただ、「海」というアイテムの途方もなさか神様とうまく接続していてそのまま最後に繋がる感じで取りました

迂回

4首目は単独でみると短歌としてはシンプルと思ったな シチュエーションが自分の感性に影響してるかんじ

加賀田

4首目、自分が思ったことをそのまま出して、でもそれがこの連作のこの位置に来ることで、こういう、自分が思ったことも、ほかの人から見たら「知らない事情」なんだよ、と自分のセンチメンタルさを突き放しているように私はとって、かっこいいなと思いました

恋を

うんうん加賀田さんと同じです

米田

ああそこでタイトルにつなげてくるのか

迂回

そうですね、単独だとふうなんだけどこのテーマの中に入れると映えるなと思いますた四首目

恋を

これが鬼門の4首目の突破方法か……

加賀田

こういうのを、たぶん無自覚な感じできてるように思っ、すごいな、無意識でコントロールしてる・・・と、なりました

迂回

「知らない事情」をテーマだと思ったときの一首目が難しいんですけどのように読んでみましょう…単独だとおもしろいで済ませていいかなと思っ、てしまいますが

恋を

近所の子供たちだけが呼んでいる名前のある変なおじさんっていませんか？僕の近所には「はみがきおばさん」いました。それって他の人にとつたら「知らない事情」じゃないですか。そういうつながりなんじゃないのかな



米田

ああ、コケコッコのおばさんがいました。

加賀田

あ、一丁目ふれてなかった。私のところはハイジさん でした。カメラおじさんがやばいひとで、なんか事情は知らないんだけどやばいので、道が変わるっていう。恋をさんといっしょですね

迂回

通学路が変わるのが学校側、体制側の台詞に見えてただけど、子どもの中だけの遊びの取り決めてることかな？

加賀田

学校側と思ってました、そしておじさん避けられていると・・・

米田

あれこれカメラおじさん避けられてんの

恋を

そう不審者ですからね。でもカメラおじさんにもカメラおじさんの事情もあるしね。

学校側からは恐らく「不審者がこの辺りに出るのでその通学路は避けましょう」というのが出てて、でも子供の認識としては「あのカ

メラおじさんの道は通っちゃだめだから」

「カメラおじさんの道を左」という認識になっている。

迂回

あー発令は学校だけど認識の仕方が子どもなのか

加賀田

だと思えます

米田

おじさんでそこまで読み込むのってちょっと辛いすか。単なる目印、としか受け取れなかったかな

恋を

うそ！マジ！！

通学路があつて「なんとかおじさん」ってなると僕の中でもう100%不審者だったな

加賀田

そ、そうかー！目印！

通学路、あだなおじさん、で、もう不審者コースでした・・・

迂回

名物おじさんぐらいの印象

米田

カメラおじさんめっちゃいいやつかもわからんやん！かわいいかもしれんやん！

まあワードとしては面白かったのでこれに関しては特に否定的じゃないです。

恋を

あとはどうだろうどの辺がやっぱり物足りないのかな迂回さん米田さんは単純にリズムの悪さを克服できるだけの魅力がなかった感じですかね

米田

そつすね。ほぼリズム。特に4首目のリズム。字足らず感がすごい。

恋を

4首目かー。僕は4首目はそこまでひどくないように見えたけど(まあ確かに良くはないんだけど)「あの海こそが、海」みたいな一呼吸置いて海を繰り返すリズムで読んでそんなに悪くなかった感じ。

迂回

視点の広さ角度の多彩さがかなりすごくて、すごいぶん5首だと目眩がしたというか。テーマには沿ってるんだけど結構大変でした。恋をみたいにもうひとつ自分の中で線が見



えればよさそうだけど

恋を

線がないとこういう作品は確かにバラバラな印象になりますね。僕はまるやまさんの作品がそう言う感じだったからなんとなしに分かる

米田

まるやまさんの3首目じゃないけど、手がかりが少なすぎるかな。タイトルだけで線つてのはすこし苦しいかも。

加賀田

観察と自意識がすごすぎて、他人と自分の境界が溶けていつてる作品だと思うので、ごちゃっとなるとうんとうにごちゃっとしそうですね

迂回

リズムは加点もしてないけどあんまり気にしてなかったなあ。独自の統一感みたいなものがあるのかもしれない

恋を

神様の歌のリズムが僕はひどいと思います。これはやっぱり効果も薄いように思うし……

手がかりが少ないか。確かにさっきの一首目の認識の時点で割と差がついたりもしてる

のかな

米田

3首目は「一番」抜いたりするとリズム整うのか。でもこれどれも抜けないワードだなー。

恋を

「一番良い時」っていうのはやっぱり言いにくいすよね。ここが神様とのギャップにもうまく接続するし。こんなに詠いっぱなしで詠んでる感じなのにちゃんと完成した歌にできてるのがやっぱりスゴイ

米田

大陸の裏に貼ってる神様が一番良かった時のプリクラ

まあ整えるならこんな感じか。これじゃダメなの？ってところ。

加賀田

言葉の感覚で、あつてほしかったんでしょうね、「そつと」

はみだしていたり、足りないところが、いやな印象で残らないので、音、ガタガタだけど、気持ちいい。推したい、の気持ちがあがった

のだと思います

恋を

うーんこうしてみると元の歌の方が明らかにいいかな。改変歌は「あるある」だけに流れてしまったように見える

米田

ふむ。わかる気がする。

じゃこ「正しさはストレート」

審査員……恋をしている・伊舎堂・迂回・加賀田

恋を

では、じゃこ「正しさはストレート」について加賀田さんお願いします

加賀田

はい！

理屈っぽさ、とか、愚痴、とか、そういう要素をこれは完璧に狙って「おもしろい」ほうに投げようとしていて、それがちゃんと上手くいっていると思いました。

じゃこさんがそもそも好きなので、気をつけてよんでいたんですが、ぼしぼし痛いところとかを突く中で、まんやかに「生き返ったりするかもしれない」という、希望的な歌が入っていて、作り方もうまいな、伝わる構成になっているな、と思つての順位でした。

恋を

超じゃこファンを自認する僕もやはり気を

つけて読んだのですが、入れざるを得ないって感じでしたすごいです。この選考会でも何度か出た「あるある」だったり「笑い」だったりテーマにした連作っていくつかあると思うんですけど、じゃこさんのはちゃんと作者の「人」って感じが残つて単純にそれは口調を関西弁にしているのが効いてたりするんだらうけどでもこの「ネタだけ投じている」ってところを見せないところがじゃこさんの凄みだと思いますね。三首目の位置の工夫とかも加賀田さんと同じでやはり上手いと思います。

迂回さん、伊舎堂さん的にはどんな印象ですかね？

伊舎堂

いちばん好きなのは  
その思い届きましたとまだ思い送っていない人に言われる

なんですけど、その理由を考えてみたら恋をさ  
んとは逆にこれが関西弁っぽくない言い  
方・思想だったからなんですな。

好みの話ですよ、あくまでも 関西弁的な押し切りかた・乗り切り方の構文？強引だった

り、でも人肌みたいなのを感じさせる効果、  
みたいなのもう耐用機嫌が切れてしま  
つてる気がして食傷気味……までは言わない  
ですけど、関西のもの言い方、つてあるじゃ  
ないですか、「生き返るかもしれない」でした  
っけ？「でも死んだままかもしれないやんけ」  
みたいに自分のなかで言い返してみたとき  
に、この関西弁つて言語の不毛さを感じるん  
ですね。お笑いや面白さは好きなものもある  
んですけど、これはちよつと、その食傷気味  
……のなかにあるものつて印象を受けました。  
4首目は、関西関東にかかわらずの普遍的な  
デイスコミニケーション、を標語チック、  
マスノさんチックに書いててこれは手柄だ  
とは思いません。以上です

迂回

口語はそうですねー僕はでも混ぜ方うまい  
なって思いました。4首、5首はそこから逃  
れる構成で、そこまでで見せてきた「その人」  
感がすつと抜けていく構成なのもアリです

伊舎堂

(4と5をにらみつける伊舎堂)

その思い届きましたとまだ思い送っていない



い人に言われる

目に見えている星だけが美しい視力0・01の目で

迂回

ただその4首目の「まだ思い送っていない人」でリズム躓いたなああって思っていて、そこ気になるってことはあんまり全体ではまっつないのかもなど

伊舎堂

ラスト一首、いいんですけど

この春のあらすじだけが美しい 海草サラダを灯の下に置く / 吉川宏志  
みたいなものに合わせるとどうだろうと思いました

恋を

口調がマイナスに働いているのか

加賀田

前、米田さんも言っていたので、それはあるのだな・・・と思いました。方言つかうと、すごく強くなれるところがあると思うので、むずかしい。自然とは、おもったんですけどもー、むずかしい  
恋を

自然に感じられるから僕はそんな印象がないな。これが「関西弁を使うことでその効果を狙っております。ご苦勞様でした！」って感じだとダメなんだけど。口調だけでなく内容とか考え方みたいなのも関西チックなんですかね？僕はあんまりそうは思わなかったんだけれど。4首目以外も。

伊舎堂

ですね、内容も。言いたいこと、を押し切るための言語と短歌、の食い合わせってどうなんだろう？ すごいファシズムだとまで思うんですよね、なんかやわらかい言い方のなかにも、自分を通そう、が見えちゃってちよつとつらいんですよね… 関西っぽさ

迂回

二首目はその押し切りたさみたいなのが説教するおっちゃんに見えてちよつと面白かったです。

本当は曲げたらあかん方向へ曲げてばっかりやで蟹の足

伊舎堂

蟹おもしろいですね、こういう、なんか生活の些細、みたいなとこいじるときに関西風、

は好きだったりするんでややこしいんですよまた…;

恋を

ああ、なるほど「あの、ごめんごめんほんま先輩だからごめんやねんけど、出ていってくれ」みたいな宮迫アレルギーに通ずるものがあるのか

迂回

(短歌の評で宮迫アレルギーって言葉持ち出すのがおもしろい)

伊舎堂

餃子やんこれ焼売やんもっかいなこれ餃子やんこれ焼売やん (飯田和馬さん)

ああー、宮迫のネガティブキャンペーンは確実にありますね 笑

加賀田

主張×方言は、きつい、と

恋を

宮迫さんは「ちよつと待って」などでまず場をフラットにして場を「納めるフリ」をしつつ自分が一番面白いことを「言える」状態を作ってから「ウケようとするセリフ」を言います。ダサイです。



加賀田

宮迫さんのそんなところはじめて意識しました・・・

迂回

バラエティーの「場」論

伊舎堂

関西生まれで大喜利の人、で良いなと思う人はこの関西風、の隠し方がうまい気がするんです。おもしろいことを言えるんです、のニエアンスとかの遺産だけ上手に使用してる。じゃこさん、の過去作傑作、みたいなのを知ってて、正しさはストリート…を読むとまた違うんでしょうね。

死んでいる それは現在進行形 生き返ったりするかもしれん

これが無かったらかなり好きなんですけど…  
恋を

そうかー。僕も伊舎堂さんの「関西の感じ」があんまり好きではないタチだけど、じゃこさんの「短歌」に関して言えばそういうのに繋がらないというか匂わなくて、じゃあそれがなぜかとなるとハッキリ言えないかもな。「生き返ったりするかもしれん」がダメなん

だ

伊舎堂

そうですね。異議を表明する根拠と、発展性が見えない、「異議を表明したかった」しか伝わってこない、ジャリっとした感じ がまとめて言うとなんかイヤさ です。で、また、声に出して読むと心地よかったりするでしょう。3首目は。そこがまた、耳障りのよいテンポで実はものすごく踏み込んでくる、いやな体感の象徴っぽくも感じられまして、ひとつ確信になったんですね…

迂回

テーマの流れでそれ(三首目)いれるのはアリなんですけど個別で見ると弱いかな

恋を

これはまあ確かに「主人公ないし作者がこういう人ですよ」っていうのを打ち出している歌とも思うけど、でもその「主人公像」に対してイヤが先立つのであればそれはイヤだろうなとも思う

伊舎堂

ですね、主人公像が見えてしまった／見せてしまった っていうことで、成功してるんだと思

います。あとはイデオロギーの問題です。ごめんなさい、見せてくれた／見せてしまったのほうに近い言い方です

恋を

僕がむしろ食あたり気味で苦手なのは「あるある」の歌なんですよね。それは一番歌を「作っている」という手つきが見えやすいからなんですけど、それをうまく「自然にやっている」というところを僕は評価しているところがあります。いろんな人に怒られるかもしれないけど僕は常に「短歌(笑)」のスタンスでやっているから、こういう作者には魅力を感じますね。

伊舎堂

うーん でも「だけが美しい」のわがまま口調とか、「自省の足りない他者」へチク、とする主体の一首目とかはわりと短歌(笑)な財産を借りてる技術じゃないですかー？自然にやっける の部分は誰にとっても課題だと思っんで、そこを見つけたいですね、正しさは…には。はい、ありそうな感じめっちゃするんです。まだ僕が見えてないだけで

迂回



うーん特に無くて申し訳ないくらいだ。テーマの訴求・構成・歌単独の魅力でそれぞれ引っかけがきらなくて埋もれてしまった作品に分類してしまうかな。というまとめでした

って個人的にはおもいました。  
恋を  
格好つけないように生きたいね

### 伊舎堂

積極的に嫌・中間・すげえ推す！で一票一票一票みたいなことになっちゃいましたね  
…どうだろう

### 恋を

なるほどー。これは意見がハッキリ分かれる連作になりましたね。印象の問題もあるのかな。

### 伊舎堂

うん、個性が立ってるからこうなったという気はします

### 恋を

好きな人はめっちゃ好きダメな人はダメって感じなのかもしれませんね。難しいところ

### 伊舎堂

1年前のなんたる星号で恋をさんが書いてたじゃこさん評で見るじゃこさんは好きだったので、その違いを考えてもおもしろいな

# 選考会

二日目(夜)



萩森美帆「イチゴストリート」

審査員……恋をしている・迂回・加賀田・米田・スコラブ・はだし

恋を

萩森さんの「イチゴストリート」です。米田さんが2位でスコラブさんが4位です。

米田

この連作の良いところは、やりたいことがはっきりとしている点ですね。すべて、日常とズレで構成されている。主体の歩く、イチゴストリートという素敵街道に沿って。1首目、これはある種状況説明で、まんまだな、って思ったけれど、イチゴストリートという名の街道なのにつつじだけ、っていう違和が良い。世間に表れている事柄と、主体の受け止めがとにかく違う、ということ。だから2首目あたりも不思議の国、なんてワードが出てきてしまう。特徴的なのは、その違和を突き放すんじゃなくて、受け止めていること。この人にとっては日常が不思議ワールドに

なっていて、でもそのなかで暮らしていかけるような。弱い点があるとすれば、伊舎堂さんが言っていた「強いられてる」「死刑宣告」あたりの強いワード。ここをどう受けとめるか、かなー。以上。

スコラブ

イチゴストリートというキーワードを頭に持って来つつも、力押しではないバランスの良さを感じます。迂回も言ってたかもけど、ファンシーさと硬さの持ってた方がいいタイミングで来る感じで

恋を

そうですね。僕も一首目二首目の日常と非日常の境をゆらゆらしているような感じ大変好感持ちました

スコラブ

僕は三首目四首目は揺れの範囲かなと思っただんですが

恋を

非日常にガツと固定されちゃった印象ですね僕は。

迂回

構成のおもしろさ有りましたね。世界観と実

際の出来事のギャップあって。

三首目四首目も主体のなんらかの世界の捉え方を強化した表現なのかなあといいところでしたが

恋を

後半からはロボットとか二足歩行とか死刑宣告とか戻って来れなくなっちゃう世界に行くのが僕は気持ち早かった印象で、もう少し行ったり来たりが続いているとスピード的には良かったかなと思えました

スコラブ

うん、非日常がいきなり来て受入れられるかどうかは人によるのかも

迂回

あー使うモチーフが急に飛んじやったってところですか

スコラブ

そっちに行っただか、っていう感はたしかにあるのかも

恋を

「イチゴストリート」とかってつつじが真っ赤でイチゴみたいだからそう名付けられていると思うんですが、それって意外と本当に

「ある」かもっていう微妙なラインに感じて、まあほとんどないんだけど。二首目も「もしもし」っていうのはそれこそ現実の言葉でそれが不思議の国に繋がるってことで、ちょうどその微妙なゾーンに入っているんだけど、やはり後半はドストレート過ぎる単語が続くのがどうも入りにくかったかな。「ロボット」って言われたらなんというか「ああロボットか」とちよつとなってしまった。

**米田**  
ロボット↓マネキンだったら受け入れられたとかそういうレベル？

**恋を**

あーまだ確かにマネキンの方がいいかもしれませぬね。こっちの側の余地がまだかなりある

**迂回**

イチゴストリート の時点でけっこうファンタジーな道具立てをしてくる気配を感じたので、そのあたりの単語は受け入れられたな

**米田**

まあこのロボットは「なにか」がロボットに

見えている、ってことなんだろうけど。まず浮かんだのはオズだなオズ。

**スコラブ**

顔のある、というところで人型なのをことさらに言うのは狙いなのかな

**恋を**

人間そのものを「ロボット」のように感じている可能性もありますね

**加賀田**

狙いのように感じます、「顔がある」で、かなり人間を想像したので、結構ドストレートだ！と思ってみました

**はだし**

人なのかもしれない、と思わせてる感じでした

**迂回**

人をロボットに感じてしまう自分の描写かなーと思いました

**スコラブ**

そうすると、ロボットが人の例えとする方が面白いよね

**米田**

まあそういう意味では「会う」も。このへん

はファンタジーと現実の境目にいる、と受け取ってもいいんじゃないかな

**恋を**

3首目までは異世界に入るもしくは入りかけている主人公って感じだったのが4首目は主人公自体が「二足歩形」を強いられる訳だから、もしかして主人公も「あっち側!？」みたいになるのはちよつと面白かった

**スコラブ**

三首目のロボットが前振りになっているというね

**恋を**

そうですね。この4首目の歌も単独で見ると特に目立つことはないんだけど流れだと面白さが見えてくる気がします。こういうタイプの歌が僕は何となく5首目にバチツときて終わっても良かった気がしたのかな。

**米田**

ま、問題は5首目の受け取り方だね。

**スコラブ**

一首目と五首目が対になるようにしたかったのだろうなあ

**迂回**



5首目、強すぎるって表現がたしかに正確そうで、このテーママ性にもたれかけてたのを決定的にされちゃったな

米田

ふむ。対つてのはおもしろい。1首目の時点で実はすれ違ってたんじゃないか、とかあるかも。空想↓1首目、現実↓5首目。

加賀田

ああー！対に、なるほど・・・

二首目ぐらいにきてもいいんじゃないかと思ったりしていたので

スコラブ

イチゴストロートの対義語としての「死刑宣告」なのかなと

恋を

そうですね、僕この最後でいきなり怖い感じになるギアチェンジ的なのはイイ気がするんですけどやっぱりこの「死刑宣告」っていう言葉ですよねこれがハッキリしないし定型文みたいな感じだから僕はしっくりこなかった。

米田

ん、ハッキリしないってあたりをもう少し詳

しく。

スコラブ

単純に、不思議ちゃんは死んでくれってことなのかなと思いました

米田

あれー、そっち？人々の楽しそうな会話が自分にとっては死刑宣告に聞こえる、とかそういう風に受け取ったけど。

恋を

もっともっと言って欲しいんですよ。「死刑宣告」っていうこの熟語自体があるから、もっと具体的に「」で何を言ったとかとにかく自分の言葉でその「死刑宣告」を表現して欲しかった。それを「死刑宣告」とだけ書くのはちょっと甘いというか詰めてない感じがしたんですよ

スコラブ

うん、形骸的な言葉ってのはたしかにそう思ってた

米田

ああ、いっそ「イチゴじゃないね」くらいでも面白かったか。

恋を

そうですねそうですね感じですね。特にこれ最後の一首だから作品全体の印象として尾を引くところなのに、そうスコラブさんが言ったように「もしもし」的なことを言うちゃうとむーんって思う

加賀田

つきつめると、死刑宣告まではされていなきような雰囲気がありますもんね。わたしは、「日常が私にはこう見えている」という、全体が丸ごと比喩みたいな作品だとよんでいたんで、「死刑宣告」は、ちょっとなんだろう、被害妄想ではないけれど「傷つけられました」という気持ちが出すぎている言葉のようには感じました

恋を

「死刑宣告」自体が内包している「意味」が強すぎる感じですね

加賀田

「われに」ではなくて「イチゴに」とかだったらまたその意味を考えすぎなかった気がします

米田

突然ファンタジーから抜けだしたからね。こ

の辺は伊舎堂が言つてた「短歌は苦悩の産物」  
みたいなどころに通じる部分も。



しま・しましま

「星だったはずだった」

審査員……恋をしている・迂回・加賀田・米田・スコラブ・はだし

恋を

しま・しましま「星だったはずだった」5位  
ですが迂回・害さん兩名とられています

迂回

まず全体を見たときの完成度の高さっていうのがこの順位に食い込んだ要因で、言ってしまうとめっちゃめっちゃ好きな歌がある！とか構成に唸った！という所ではないんですが、それでも一首一首が確実に立ってるふうに感じたんですね。

よっちゃんを違うあだ名で呼んでいたヨシフミくんが来てからずっと

とか確か米田さんが書いてたけど「あるある」の範疇にある歌が多いんですけどそれが「どやさ」な顔をしない、確実に抉ってくるように料理されてる印象で

時々わわたしのの中の少年が「こんにちはあ」  
のあを裏返す

の辺りはあるあるから外れつつ効いてる修辞を織り込んできて、「過去を振り返る」がテーマと思われるんですが、シンプルなそのテーマにことごとく生々しさを与えてきたなー と思い、その意味では好み、よりは高得点にふさわしい、の意識で取った作品、と言えるかと思います。

スコラブ

非常に高度なあるあるというのはたしかにそうで、今回、選ぶ基準として、普遍っぽいものは避けてたところがあるので、選ばなかったけど、いいなと思ったひとつでした

恋を

安定感というかそういうものは感じましたね。迂回さんの言うように良くも悪くも傷が少ない連作に思います。

迂回

言葉を選び抜いて考えぬいた万人受け作品で、ネット大喜利向けに云うならいかさうめんの的（※超有名なネット大喜利の重鎮。超面白い）

スコラブ

あえて難癖をつけるならば、あだ名と本名が出てくる歌は散々出てるかなあぐらい

迂回

やー、ただ名前出ただけでなんかイイ、に留まってるだけで一歩踏み込んでると思うな

恋を

「あるある」が多いのもそうですけど、文体とかで歌のつくりも僕は類型的という方がされていて、そこが候補に入らない要素かなと思います。「こと」で終わる歌とかも僕はちよっと苦手なんですよね

米田

うーん、いや、完成度はたしかに高い。けどどやっぱり既視感かなー。あるあるの域からはみ出す魅力があまり感じられない。

迂回

既視感、ウケそう感はその通りで新奇性の軸ではあんまり評価してないんですけど、そこを徹底してる！ってところが並でなくて、ちよっと恐ろしい位だと思いました

恋を

なるほどそういう評価軸は確かにあっていいですよ。

じゃあ死にたてに触ったことはあるの　と聞かれるままにうんと答える

一首取るならこれかな。「死にたて」っていうのが面白い着眼点で、聞かれるままに「うん」と答えてしまう子供ならではの何か危うさみたいなものが出ていて、これは純粋に良いと思います

迂回

あーいいですね（セミの）死にたて、とかだと思っんですが、この言わない技術も王道ながらきっちり効いてて

恋を

この作者の方力量もあるし着眼点も悪くないと思っんですが、でもどこか「寄せて」行く感覚を覚えてしまっているというか、悪いことではないのかもしれないんだけど決定的な魅力がそこで損なわれている気がするな。偉そうな言い方になっちゃうけれど。

迂回

手癖が見えてくると陳腐さにつながるんだ

ろくな

はだし

これ言ってるのよっちゃん？

米田

どっちのよっちゃんだよ

はだし

旧です

加賀田

よっちゃんに聞かれた人かな、と思っただ

スコラブ

ヨシフミくんじゃないほう

加賀田

あ、わたし、か

迂回

必ずしもそれまでの登場人物じゃなくても

いい気がした

米田

えーと、5首目の受け取り方は？ここで急に現在に焦点が移るけど

加賀田

まとめ・・・、回想終了、みたいな。

スコラブ

回顧録というくりでもいいと思う。まあ、

実際しまさん少年じゃないわけだし

迂回

先に言われた　割に自然にそこまでが回想だと受け取れましたね

米田

ああ、そういえば1首目も回想導入的か。はだし

これよみかえしてびしっだとおもったんです

恋を

僕も5首目はビシツとなっていると思っます。だから構成も巧みだなと思っただです。いずれにしろ上手いなと。

はだし

一首目でよっちゃんを奪われてだんだん疎遠になって　別のあだ名が思い出せないと思っ　だから「少年」になっちゃって　それがこんにちにはあっているのがこわくて

恋を

少年Ⅱよっちゃんかーなるほど。ここは自然に少年Ⅱ私でとってたな

スコラブ



その（はだしの）読みはなかったな

加賀田

ああ、なるほど・・・ほんとうに名前のない「少年」になっちゃって、でも胸の中にいると

米田

ほー。おもしろい。

迂回

あーそうか。ちよつと後ろめたさが付加される

スコラブ

でも、全体的になんかほの暗い感じはあるよね

加賀田

たしかに、一首目でヨシフミくんを優先させているし罪悪感の物語ともとれますね。

米田

底、傷、死、って回想にしては穏やかじゃない。いっちゃあ穏やかじゃない。

スコラブ

頭の傷を見てしまったことの言葉にしにくい感じとか

米田

そこらへん、タイトルの星だったはずだった、はどういう意図なのかな。

迂回

二首目にひっかけつつ、回顧全体の比喻にっつけてるんじゃないかな。星のきれいさがある、と思ってた思い出に落ちる影っぽさ

スコラブ

宝のようなものⅡ星みたいなことかと恋を

過去形にしているの十一首目で無理なく回顧への導入としているのもやはり上手い

はだし

違うあだ名がでてこないことでもとれそうな感じですよ

米田

（あだ名が）つかめない、星ということ？思いうせないことが。

はだし

えーと、よっちゃんのおだなⅡ星だとして記憶の奥底からつかんだ（思い出した）だとして見てみたら消毒のやつ（なんか違う）やんみたいなの。これは過去だと思っんで読みすぎっぽいけど

恋を

うーんそうですね全部の歌に「よっちゃん」が顔を出していたとして見れなくもないし、そう読んだ方が連作としての魅力が増すのは確かですね。ただ、はだしさん以外の人が「そういう風には自然に読めなかった」というのは留意すべきポイントに感じますね。5首じゃちよつとその流れにもっていくのが難しかったのかもしれない。

米田

うん。5首目の「少年Ⅱよっちゃん」ってのは表現としてはすこし伝わりづらいかな。はだし説の根幹とも思うし。

はだし

ですね。わりと強引な tokomo aruk

ara

加賀田

あ、私は、「少年」は「よっちゃん」とは思っつてよんでました・・・

恋を

おお！それはよろし！どこが違ったんですかね？

加賀田

名前との関連性は考えてなくて、よっちゃんのことを、「わたし」が「少年」って表現できるといって「少年って表現できる」って「わたし」はそのくらい大人になった。みたいに成長しちゃったなーっていう、もう過去だよっていう、センチメンタルさの表現ととっていいました。

恋を

「少年」と呼んでいることをどうとらえるかという部分が違っていたという感じですね！

加賀田

そうですね！だと思います。

迂回

どう読んでも破綻しないのおもしろいな

加賀田

それだけよくできているという、ことですよ

恋を

そうですね。確かにかといって5位にとっているのはだしさんや加賀田さんではないというのとは何かスゴイ



めちやくちやうるさいあしか

「夏へ、菜食生活」

審査員……恋をしている・迂回・加賀田・米田・スコラブ・はだし

恋を

めちやくちやうるさいあしか「夏へ、菜食生活」これは僕が一位で取っている作品です。

迂回

きちやったな

はだし

あしか

恋を

恐ろしいですこれは。完全にこれは言葉の暴力！！ぶん殴り。相手のことを全然考えてない。自分自分自分の感情自分の好きな言葉独りよがりおつ！！なんだけど、その熱量みたいな言葉をぶん投げる爽快感みたいなところにグワツとくるドライブ感みたいなものを感じて面白いなーと思った作品でした！

完全に1、2首目でふざけて3、4からトーンを落とすつ言葉のパワーを落とさないようにしているのがなんか疾走感って感じでグイグイ走っていくのが好きな感じ

です！短歌をやっている人が「これが大賞になったことを知ったら怒るな」っていうのも僕が推しているポイントであつたりもします！とにかくみなさんの意見の方が聞きたいな！！

スコラブ

5位に入れようか悩んだ作品。ドライブ感とかテンションとかいうかうまいですよ

米田

えーと、好きなんです、これは表出であつて表現ではない、という批判がどんぴしゃでハマる。

恋を

ムズイ表現や、「表出であつて表現ではない」とは！？

米田

表出↓自分の想いを吐き出すこと、表現↓自分の想いを他者に理解させること。

スコラブ

メッセージは全くないですよ。ありそうにも見えはするけど

恋を

なるほど！

米田

だけどそこがいい、と言われると。だよね！だよね！となる。

恋を

そうなんだな！僕は共感というのに割と飽きているタチなので、これの「共感無視」なところをむしろ評価しています

スコラブ

うん、それもただのぶん投げではないところが、自分もいいなと思ったところです

迂回

むりやり意味とまでは行かなくても雰囲気解釈するなら、各歌の主体は何かしらに対する「好き」を表明してるふうに見えて、口調がかわいいので、かわいい

恋を

そう、「愛」みたいなものはあると思うんですよ！僕はこれ言葉暴力だからその表裏として「愛」があるように感じました！

スコラブ

むちゃくちゃやってるように見えて、妙な読みやすさがある

加賀田

これだけあふれていて音があっている！って気づいたとき、うれしさがきました

恋を

場所じゃないとこにいるから見つけてねすべてのオーロラ・雲に泳法

無理を言いながら「見つけてね」ってやっぱり他者に見つけてもらいたいんですよね。こういうのが確にかわいくて愛を感じるな。無理な事言っているんだから、分かっただけでう気が感じられないから「見つけて」なんてもらえないのにも「見つけてね」って人間だなーというかなんというか

迂回

あーそれは僕も最もかわいいポイントの歌でした 辿りつけない場所に辿り着く方法を必死に伝えているふうで。取れなかったのが二首目で、これちょっとベタに変なこと言おうとしすぎて失敗してませんか

地球よりでかい魚を釣ったあと四角いトマ

トに恋してみたい

恋を

あー奇をてらったただけみたいな感じかな。

米田

俺はめっちゃめっちゃだぜ！という主張に映る。陳腐といえば陳腐。

迂回

奇の作り方がふつうに見えたのかなあ恋を

これも「無理」を言っているんだよね。「地球よりでかい魚」っていうのがまず誰も想像できなくて、言葉だけの宙ぶらりんな存在だから短歌というもののすべての拒否でありでも最後「恋してみたい」ってなるかわいさはだし

ちよつと狙いがあるふんいきもします

スコラブ

意味は一番通ってるけど結局なんやねん、つてとこがむしろ好きではあった

迂回

そうですねそこが逆に狙いっぽくもあるんですが、わからん

一首目の羅列で「変」の作り方のセンス感じ

ただけに、あれ？ってなったんだけど

米田

あー、たしかに1首目と比べるとな

恋を

一首目は挨拶的な歌ですよね。自己紹介みたいにも感じた。

米田

ああ、「思いがけず応募してしまいました」みたいなの？

恋を

そうそう！そして変な言葉を羅列して、俺は意味を拒否！その時短歌も拒否！俺は最悪！でも最強！yeahみたいな作者自身の作風の紹介でもあると捉えました

加賀田

言い訳並べててわらいました、一首目好きです。二首目、恋、は、恋をさんがいるからできたのかなと思って、ほかの人の名前を探そうとして無理だったので、やっぱりそういう、なんかこう、うおーっていう気持ちのでてきたものなのかなととってました

米田

マスノイズム的には「ひとりよがりのセック



スもあるし、まわりの人を楽しませるオナニ  
ーもあります。」となる。

恋を

マスノさん良いこと言う。ちよつとでも難し  
いんですよね。もうこれは決めてかかっちゃ  
うけどこれ作ったの絶対大喜利の人で、僕ら  
ってそこが出自だから少しそういう事への  
肩入れというか「読み込む土壌」があるけど  
やっぱり評価ってそこが難しいなって思う  
スコラブ

うん、変わったものを取ろうと言う気持ちは  
あったもののこれを取るのには偏ってるのか  
なというきらいはあったな

迂回

大喜利の中でも特定のジャンルの人ばさ

米田

意外性、はそれに対する普通、があつてこそ  
恋を

だから僕は特に意見が聞きたかったのが実  
は加賀田さんだったりするんですよ

恋を

やっぱり偏ってますかね。うん、そうですね。

加賀田

大喜利知らなすぎる勢。意味が取れなくて気  
持ちよかったです。でも、ほんとに音数があ  
っているんで、なんだろう肯定感、というか、  
いっしょに遊んでくれそうな印象を受けま  
した

はだし

暗くないですね

恋を

ああ、なるほど「一緒に遊ぶ姿勢」みたいな  
のは大事ですね。多くのひとにそういう肯定  
感でもって受け入れられたらすごく財産に  
なる連作だなと思う

加賀田

そう、皮肉られている感じもなくて、暗くな  
い

大賞に推すか、選ばないか、だな、と思つて、  
選ばないほうを選択しましたね・・・

万人にも受けそうなところを探つてしまつ  
た感じです

恋を

暗くはないね。ハッピーな短歌の方が実は作  
るの難しいからね。陳腐になつたりもするし。  
そこは確かに、この人ならではの思う

加賀田

「それか嘘かも」で終わるの、照れてるみた  
いでかわいい気がする

迂回

この感じでかわいい印象が共感されるの面  
白いな 言葉！おい！てなる

米田

うーん、そう考えると、むしろ短歌的な人  
はある程度ウケるけれど、短歌を知らない人  
にはまったくウケない危険を孕んでいるよ  
うにも見える。

加賀田

あー、やっぱり、「意味がわからない」の  
が・・・いやでも、とにかく音がいい  
ので！わかんないけど気持ちよくて残る！  
みたいなこともあると信じたい

恋を

どうなんだろうな。意外と僕らが意味を取れ  
る短歌でも「分からない」のが一般の感覚と  
いう印象があります。僕ほんと何も知らない  
時は柘野さんの短歌ですら何言つてんだか  
つかめなかった。

加賀田

だから逆にここまでわからないと「ただ読むしかない」というか「笑うしかない」みたいなどころまでいくんじゃないかな

米田

なるほど。評価点が「わかんない！良い！」だからこそ、つてのは素敵ね。

加賀田

素敵

恋を

そうですね。「賞を与える」という意味では受け入れられるか分からないけど「新しい感覚」みたいなものを提供してくれたこれを推そうという気持ちでしたね。

これをバーンと送り出す必要があるんじゃないかっていう感じでした。

米田

読み込みほとんどしなかったけど、それが適正のようにも思える。

恋を

詠み込むというか「感じる」ってことに重心を置いてるからね！それでマジいいとおもう！

加賀田

恋をさんがこれを一位にしてたとき、なんかよかった、つて思いました

スコラブ

選ぶべき人の選んだ感 よい

恋を

なんかすごくいいことを言われている気がする。ありがとうございます。



## 大賞決定討議

審査員……恋をしている・迂回・加賀田・米田・スコラブ・はだし・ナイス害（メール参加）・伊舎堂（メール参加）

恋を

では、大賞決定の討議に移りたいと思います！各人大賞に推す作品はお決まりですね？

米田

やー

迂回

いってみよう

恋を

いきますよ、ってトップバッターがあれですね一番死ぬから僕から発表しますね！

加賀田

すごい

恋を

恋をしているは、めっちゃくちゃうるさいあしか「夏へ、菜食生活」を推薦します。ごめん

なさいよろしくお願いします

スコラブ

意外……！！

恋を

上から順で次スコラブさんお願いします

スコラブ

はい。大嶋航さん「ペンギンづくり」を推薦します

恋を

次米田さんお願いします

米田

まな！さん「知らない事情」で。

恋を

次加賀田さんお願いします！

加賀田

まな！さんの「知らない事情」です

恋を

続いて迂回さんお願いします！

迂回

パンノアクラウ／御糸さち お願いします

恋を

続いてはだしさんお願いします

はだし

御糸さちさんのパンノアクラウを推します

恋を

おおー！

最後に伊舎堂さんからも先に推薦作届いてますので発表します。伊舎堂さんは、まるやま「行事には出ない」を推薦します

迂回

ふおー

恋を

害さんはごめんなさい連絡現在取れずなので、以上になります。

これはとりあえず二票入っている作品からですかね。「知らない事情」と「パンノアクラウ」

どちらも決戦で二票入っていて、もともとの候補作の段階でも三名ずつの方が推していた作品になります。甲乙つけがたい感じ。

正直なことを言えば僕は「知らない事情」はかなり最後までこの場で推薦しようか悩んだ作品でしたね。だから、これが大賞を取るならあまり異論はないです。

スコラブさんはどうですかねこの二作品全

然ひっかかってこなかったですか？

スコラブ

逆に、僕がふたつのどちらかに票を入れるなら「パンノアクラウ」ですね

恋を

まっぶたつきたー！では、ここで害さんと伊舎堂さんの候補作を見てみましょうと、おーっと害さんが「知らない事情」に伊舎堂さんが「パンノアクラウ」を入れているぞー！これはまっぶたつきたー！

迂回

すげげ

スコラブ

割れるねえー

恋を

これはかなり面白い

迂回

候補に入れてない米田が「知らない事情」を取った理由が気になる

恋を

確かに！

米田

ほう。今回わりと全部に批判的な見方でやっ

ていたんですが、そのなかで知らない事情、についてはリズム感しか指摘できなかった。

ここが大きい。最初ひっかかったのがそこだけだったのもあるけれど、読んでみたら意外と大丈夫だったし、なによりほかのみんなから違和感があり出なかった。あとはー、新規性、かな。既視感の少ない作品だったので。

恋を

そうですねそれは僕も感じた。割と大きな否定がお昼の場では出なかった感じでしたね。はだしさん、スコラブさんとかはどうですか？「知らない事情」について。

スコラブ

むしろ、リズム感こそが大きな瑕のように思えたんですね。破調でも綺麗に響くものは響くんですけど、これはどうにも消化不良感があって

はだし

わかりなす

恋を

うんうんなるほど。「短歌」である以上確かにそこは見逃せない点にもなりますね。「知らない事情」派は多分そのリズムを置いてあ

まりある作品の内容に惹かれている面が大きいのもかもしれません。僕も加賀田さんもリズム面の指摘は正直受け止めているところがあります。お昼の時の話です。

はだしもわかり茄子

はだし

全部にそつとの歌とかの必然性みたいなのがあればいいですね

スコラブ

三首目、四首目は確かにリズム無視だけど歌意はいいですね。ただ、他の歌もそうかという、ちぐはぐな感じはします

恋を

OKです。

パンノアクラウ推薦のご両人は最終的な決め手だとどんな感じですかね？

迂回

完成度と内容の明るさですかねー 言葉遊び、観察眼、過剰でない修辞、あともちろん面白さがあって、「大賞！」として出したときにカッコいいんじゃないかなと思います

恋を



確かに明るい雰囲気は明らかに他作品と一線を画していた感じ有りますね。僕はやっぱりこの作品はテーマとか雰囲気は良いんだけど一首一首を見た時に笑いの面でも軽いなーってというのがあって（4首目）

はだし

ぱっと見楽しく読めて、でも「かるい」とかの驚きもあって、それらを大体みんなブレなくすっとはいりこめる世界観にまとめ上げたバランスとか

スコラブ

独特の空間の切り取り方がありますよね。多分この人にしか詠めないであろうと思わせる視点があって、かつそれが完成度が高い

迂回

うんうん独自性の意味でもレベル高いと思います

恋を

そうか、作品の新しきさっていうところよりも完成度で見ると確かにこちらに軍配なのかな。

迂回

短歌っぽい短歌っぽくないか みたいな

軸にも見える

恋を

これは正直ですね。W受賞の気配が漂っているんですが……

米田

さくっすごいこと言う

スコラブ

わたしはその着地、ありだと思えます。短歌として完成している、と先進性、を両方押せるならいいなという

米田

色的には二作品がかぶらない部分もあり、こういうのと、こういうの！という主張にも映るからアリはアリ。

迂回

恋を的には、あるいは皆的には「ふさわしさ」ってどこに重点なのよーという部分はあり

そこで上下がつけられるなら、大賞&次点に落ち着けてもいいかなと

恋を

僕的には「新しさ」ですね。大賞に限らず評価の軸としてそれで選んでいます。でも、僕

が上下つけちゃうのはどうなんだろうなと

いうのはある……

なんたる星という団体自体がそういうのを志向している部分はどうしてもあるから、うん僕はやはりその観点で見えますね

迂回

新しさかー 必然短歌らしくなさが入ってくるわけだな

米田

まあどっちかって言うとその目線で見えてきた身だけど、今回の評の流れを見る限り、必ずしも新しさだけが希求されているわけではない、とは思ったかな。

スコラブ

むずかしいんよね。正直両方あって。ただ、新しさだけで押して行くってことはしないかな。新しさの中にも、それぞれ踏み外していいと思うとことそうでないところがあってそれを言い始めるとキリないようなところ

米田

米田

まあそれこそあしか辺りの話だよ

迂回

新奇な方が確かにいいんだけど短歌の定規

を無視するためだけに使うと大賞っぽくは  
なくなるなあという

加賀田

むずかしいですね…。私は、短歌するのがこ  
れからもっとおもしろくなるかどうか、を基  
準に選んだところがあって

迂回

候補作全体の中で、自分の候補じゃないやつ  
だったら「知らない事情」推しだなと思って  
て、必ずしも短歌らしさ必須とは思わない  
けど

恋を

変な言い方だけど「知らない事情」だったら  
参加者にも怒られないような気がする。

加賀田

そう、これは、短歌になっていいるな、と感じ  
たので……。そうなると、これからの可能  
性ひろげていくかなあと思つての推しでし  
た。納得させる、みたいな力はあると思いま  
した

恋を

ここまで意見が割れるのもある意味面白い  
暗示だと思つたので、W受賞がみんな的に納得

できるならそう着地させてもいいなと思  
います

迂回

おそらく普段短歌してない方というのもあ  
り、可能性の意味では確かに：僕もリズムに  
それほど疵は感じなかった方ですが

米田

うん、Wかそうでないか、だったら正直Wを  
推すよ

スコラブ

Wならわりと納得です

迂回

うん、こつちを優先！て決まってるのに決  
めるのもちよつとイヤなのでWでもいいか  
な。あ、でも1票組の意見はよいんだらうか

恋を

一票組は次席に入れるかどうかの話し合い  
になるのかなという気もしています。どうだ  
らう

米田

行事には出ない、はこれを推したい気持ちも  
わかる。てか初期段階で入れてるし。

恋を

あと見逃せないのがやっぱり「ペンギンづく  
り」だと思えますね。初期段階で一番ポイン  
トを取っているわけです。これには次席と  
か何らかの形で名を与えてあげてもいいよ  
うな気はしている

スコラブ

僕は一押しだったわけですが、うん、なにか  
しらあればうれしい

恋を

！！！！いまだすね害さんからも連絡が来  
ました

米田

ひえ

恋を

ナイス害さんの推薦作は「知らない事情」で  
す

迂回

害く

はだし

！！

加賀田

わおー

恋を



ちなみに全作品からということでも選んでもらっています。特に現在の事情はお伝えしえていません。知らない事情だけに。

米田

うん。それはそれで分かる気がする。Wかね

ー

迂回

さっきの仮定のとおりでことか うーんま  
つぶたつ

米田

あと、個人的にはあしかはいいやつだと思  
います。なにかあげてください。

スコラブ

あしか賞

迂回

あしかショー…

恋を

あしかショー！うまい！僕の知らない事情

ギヤグよりも上手い！

迂回

ギヤグギヤグ選考会

恋を

じゃあ、もし否定がなければW受賞は先の二

作品ということにして、あとは、個人的には  
候補作時のポイントの高さで「ペンギンづく  
り」には次席を取らせてあげてもいいかなと  
思います。どうか。

あ、あしかと行事もあとで検討します

スコラブ

僕は勿論異議なしです

恋を

1, 1, 2つてすごいから単純に。60作  
品でこの打率は明らかに何か持っている気  
はする。僕は確かにあんまり着目した連作で  
はないけれど、次席とかの形で何かを与える  
のには十分足る作品だと思います

迂回

個人的2位だしまったく異論ないです 見  
る人によっては気になる傷が多いんかなと  
思っ推しきれなかった

米田

よいよし。よいよし。

はだし

おっけー

加賀田

よいと思います！

よいと思います！

よいと思います！

よいと思います！

恋を

よし、では決まりー！

「行事には出ない」はどうでしょう？お昼  
出てなかった方特に意見聞きたいですね

スコラブ

選にはあげなかったですが、面白いですね。

何らかの賞があってもいいとは思いますが。三  
首目の95人への歌が好きでしたね 怪

談も良いです

恋を

僕はお昼にも言いましたが、最後の怪談の歌  
が一首一首を拾って見た時に全作品の中  
でも1, 2くらいにイイ歌だと思っていたので

そういう意味では僕も何らかの名前を与え  
るでもいい気がしています

はだし

うん、怪談

米田

よく考えたら行事には出ないがなんかもら  
わないと候補作全落ちの憂き目に合うので、  
なんかあるとうれしい。

迂回

言葉と仕掛けがおもしろく効いてるやつだ

迂回

言葉と仕掛けがおもしろく効いてるやつだ

言葉と仕掛けがおもしろく効いてるやつだ

言葉と仕掛けがおもしろく効いてるやつだ

と思うし、タイトルいいなって思っていました。  
恋を

タイトルいいよね、タイトルいいよ。

加賀田

いいと思います！行事にはでない賞

はだし

ほかの賞と色が違ってて個性あって、いいと

おもいます

恋を

佳作とかグレードを下げるほどではないし、

絶対に賞を与えないってほどの「弱さ」も見

つけられないから「次席」ならOKかな。

では、行事には出ないも次席としましょう！

米田

あいよ

恋を

で

あしかは特別賞とします！お疲れ様でし

た！！！！

米田

おつかれさまでしたい！

スコラブ

お疲れさまでした！！！！！！

迂回

おつかれでー！ー！ーす

加賀田

おつかれさまでしたー！めっちゃ！

はだし

おつかれさまでした！

恋を

(ツッコまれない恋をの無力) いいのかー

い！！

迂回

あしかは賞というかテーマソング

恋を

でも僕がこれ最後に推したのは、話し合いの

結果一つ分かったことがあって、それは「な

んだみんな好きなんじゃん」ってことだった

ので推させていただいた次第でした。めっちゃ

くちや否定されたらおめおめ引き下がって

たけど、でもなんだかんだこれを「感じる」

って部分がある程度共有できたのが嬉しく

てそれなら「なんたる星大賞」として、あし

か推したろう。大賞はやっぱり援護射撃がい

ないから無理だけど、そして次席って感じの

作品でもないからやはり特別賞的な位置づ

けかなという感じですが、はい。

もしくは賞をあげないかのどちらかだけど、

「みんな好き」なのにあげないのもどうかと

思ったからさ！！

米田

特別賞どれ？って投票したらたぶん勝つか

らいいと思う

迂回

この方向の はいくつかあったけど、突き抜

けてたとおもうよ

恋を

そうですね、この方向確かにいくつかあった

けど割れてないし僕もこれしか目に留まら

なかった

はだし

読後感が夏だもの8月だもの

恋を

じゃあ、まじそんな感じで行きたいと思いま

す！！これにてなんたる星大賞選考会全日

程を終了します！！みなさんお疲れ様でし

たー